

資料編

第2章 使用済製品の品目別排出・流通実態（マテリアルフロー）の推計品目別の概要

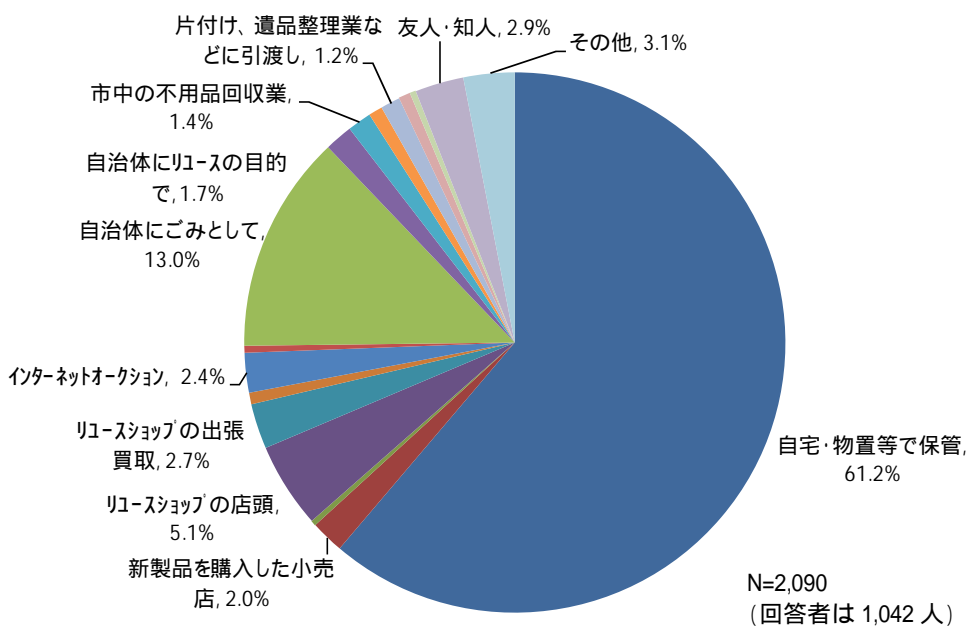
消費者モニターアンケートを踏まえた品目別の排出・流通実態の推計結果を以下に整理する。以下は副次的に集計したものである。調査結果の詳細は、別データを参照のこと。

1. 家具類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家具類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家具類の台数は2,090台（1,042人からの回答）。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く61.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.0%、「リユースショップの店頭で売却」が5.1%、「その他」が3.1%と続く。

図表 1 不用となった家具類の排出先別の割合（台）



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

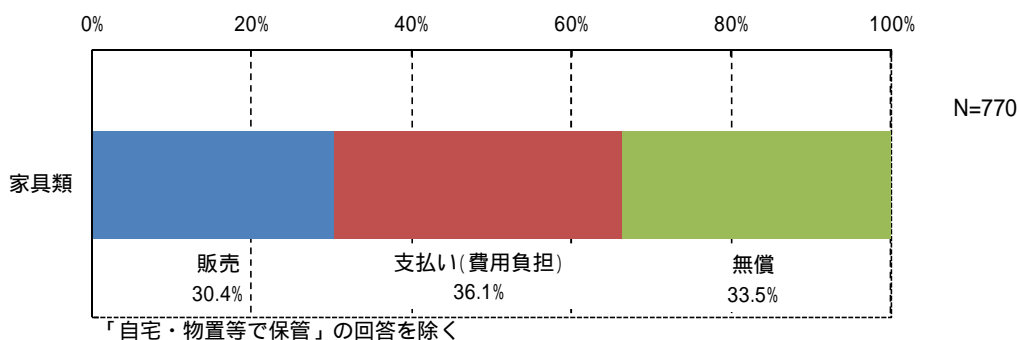
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家具類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い(費用負担)」との回答が最も多く 36.1%、次いで「無償」が 33.5%、「販売」は 30.4%となっている(図表 2)。また、「販売」の際の平均単価は 12,408 円/個、「支払い(費用負担)」は 4,556 円/個となっている(図表 3)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち 64.8%が「支払い(費用負担)」、「無償」が 34.9%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 89.1%(1,151 円/個)、「無償」が 10.0%、「友人・知人に譲渡売却」では「無償」が 68.3%、「販売」が 23.8%(500 円/個)、「支払い(費用負担)」が 7.9%(2,460 円/個)となっている。

図表 2 排出・引渡時の費用について(家具類)



図表 3 排出・引渡先別の割合・費用について(家具類)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,320	61.2%	-	-	-	-	-	-	1,320	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	43	2.0%	10	23.3%	5,900	4	9.3%	2,730	29	67.4%
その他の小売店に引渡し・売却	7	0.3%	5	71.4%	4,440	-	-	-	2	28.6%
リユースショップの店頭で売却	110	5.1%	98	89.1%	1,151	1	0.9%	500	11	10.0%
リユースショップの出張買取サービス	58	2.7%	41	70.7%	37,634	12	20.7%	33,833	5	8.6%
宅配で郵送する買取サービス	15	0.7%	8	53.3%	1,938	-	-	-	7	46.7%
インターネットオークションで売却	51	2.4%	42	82.4%	21,876	-	-	-	9	17.6%
フリマアプリで売却	9	0.4%	8	88.9%	21,500	-	-	-	1	11.1%
自治体にごみとして廃棄	281	13.0%	1	0.4%	300	182	64.8%	1,123	98	34.9%
自治体にリユースの目的で引渡し	36	1.7%	-	-	-	29	80.6%	3,460	7	19.4%
不用品回収業者に引渡し	31	1.4%	1	3.2%	100	12	38.7%	2,167	18	58.1%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	18	0.8%	1	5.6%	50	-	-	-	17	94.4%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	25	1.2%	-	-	-	23	92.0%	14,504	2	8.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	15	0.7%	1	6.7%	50,000	10	66.7%	17,260	4	26.7%
バザー・フリーマーケット等で売却	8	0.4%	3	37.5%	704	-	-	-	5	62.5%
友人・知人に譲渡・売却	63	2.9%	15	23.8%	500	5	7.9%	2,460	43	68.3%
その他	66	3.1%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,156	100.0%	234	11.2%	12,408	278	13.3%	4,556	1,578	75.5%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家具類の排出・流通実態の推計

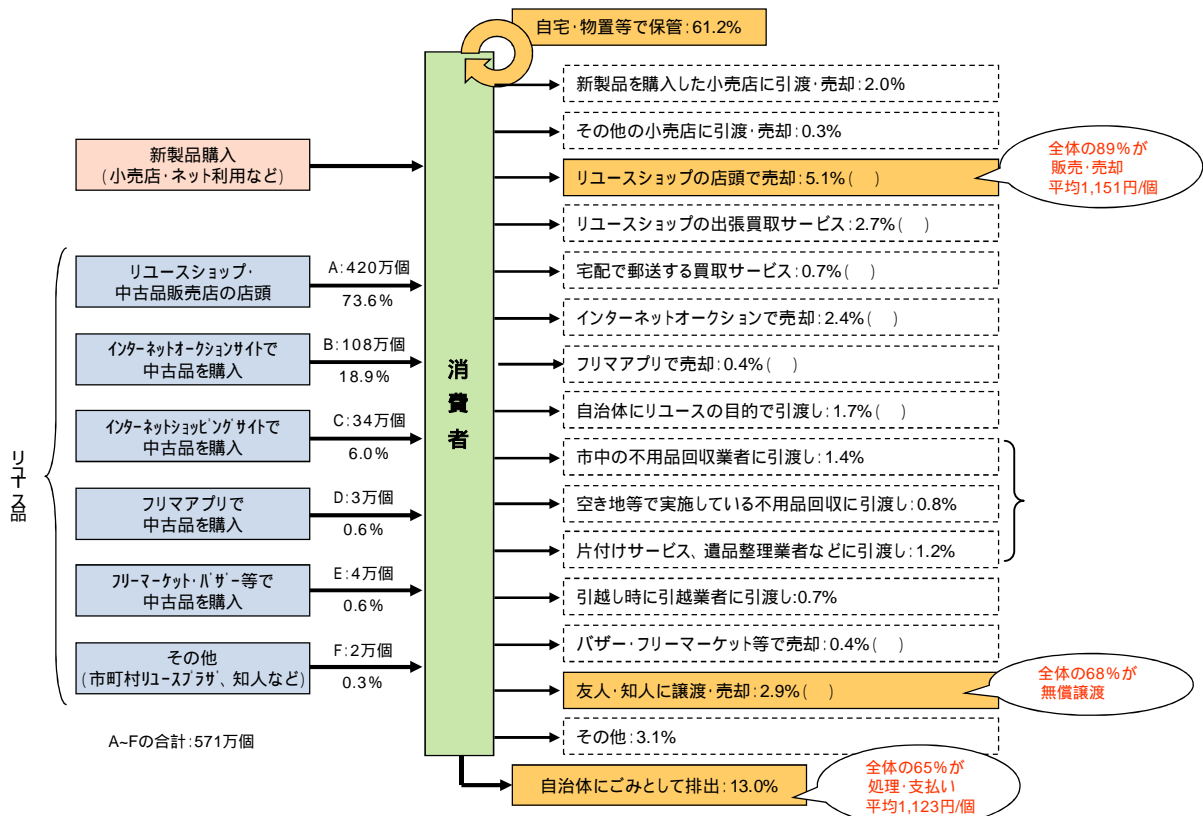
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は571万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが73.6%、420万個、「インターネットオークションサイト」が18.9%、108万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった家具類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く61.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.0%、「リユースショップの店頭で売却」が5.1%、「友人・知人に譲渡・売却」が2.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では支払が65%を占め、その費用は平均1,123円/個となっている。「リユースショップの店頭」では販売が89%、平均1,151円/個、「友人・知人に譲渡・売却」では無償譲渡が68%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の16.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の45.5%を占めると推計される。

図表4 家具類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

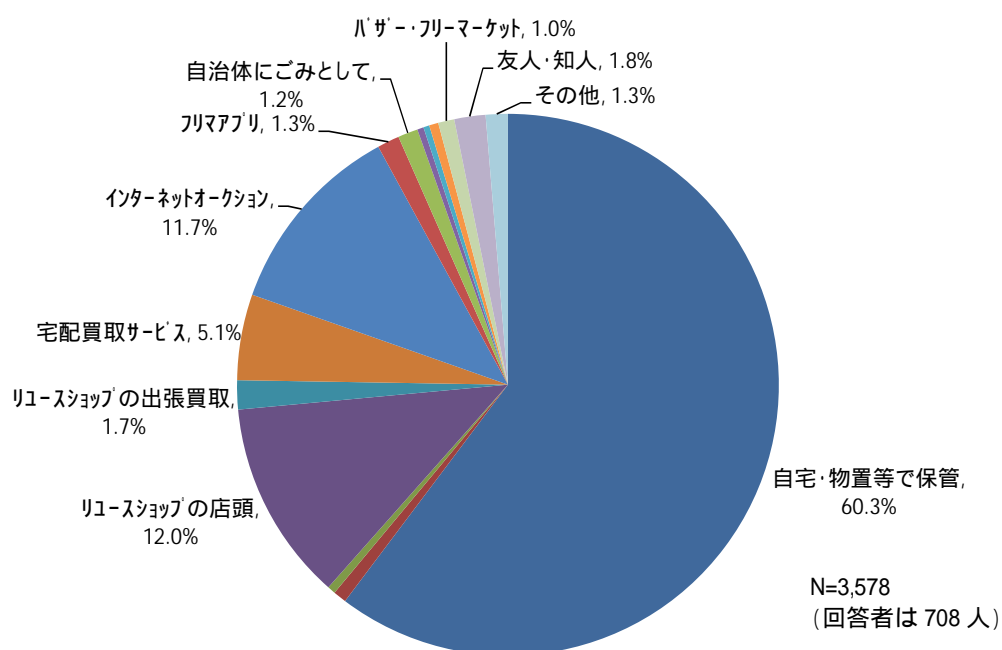
注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

2. ブランド品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品の個数は3,578個(708人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が12.0%、「インターネットオークションで売却」が11.7%と続く。

図表 5 不用となったブランド品の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

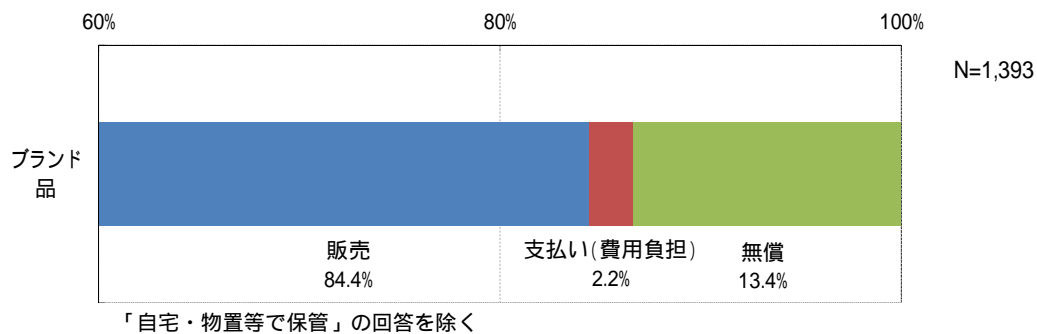
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 84.4%、次いで「無償」が 13.4%、「支払い(費用負担)」は 2.2%となっている(図表 6)。また、「支払い(費用負担)」の際の平均単価は 639 円/個、「販売」は 38,909 円/個となっている(図表 7)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 98.6%(8,382 円/個)となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 97.6%(20,205 円/個)、「無償」が 2.4%、「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 97.3%(126,943 円/個)となっている。

図表 6 排出・引渡時の費用について(ブランド品)



図表 7 排出・引渡先別の割合・費用について(ブランド品)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,185	60.3%	-	-	-	-	-	-	2,185	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	29	0.8%	18	62.1%	3,556	-	-	-	11	37.9%
その他の小売店に引渡し・売却	17	0.5%	16	94.1%	33,650	-	-	-	1	5.9%
リユースショップの店頭で売却	435	12.0%	429	98.6%	8,382	2	0.5%	2,000	4	0.9%
リユースショップの出張買取サービス	63	1.7%	62	98.4%	143,013	-	-	-	1	1.6%
宅配で郵送する買取サービス	186	5.1%	181	97.3%	126,943	-	-	-	5	2.7%
インターネットオークションで売却	423	11.7%	413	97.6%	20,205	-	-	-	10	2.4%
フリマアプリで売却	48	1.3%	38	79.2%	33,130	-	-	-	10	20.8%
自治体にごみとして廃棄	43	1.2%	-	-	-	16	37.2%	176	27	62.8%
自治体にリユースの目的で引渡し	14	0.4%	-	-	-	-	-	-	14	100.0%
不用品回収業者に引渡し	13	0.4%	-	-	-	13	100.0%	1,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	20	0.6%	1	5.0%	1,000	-	-	-	19	95.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	35	1.0%	15	42.9%	5,867	-	-	-	20	57.1%
友人・知人に譲渡・売却	67	1.8%	3	4.5%	7,667	-	-	-	64	95.5%
その他	48	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3,626	100.0%	1,176	32.9%	38,909	31	0.9%	639	2,371	66.3%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ブランド品の排出・流通実態の推計

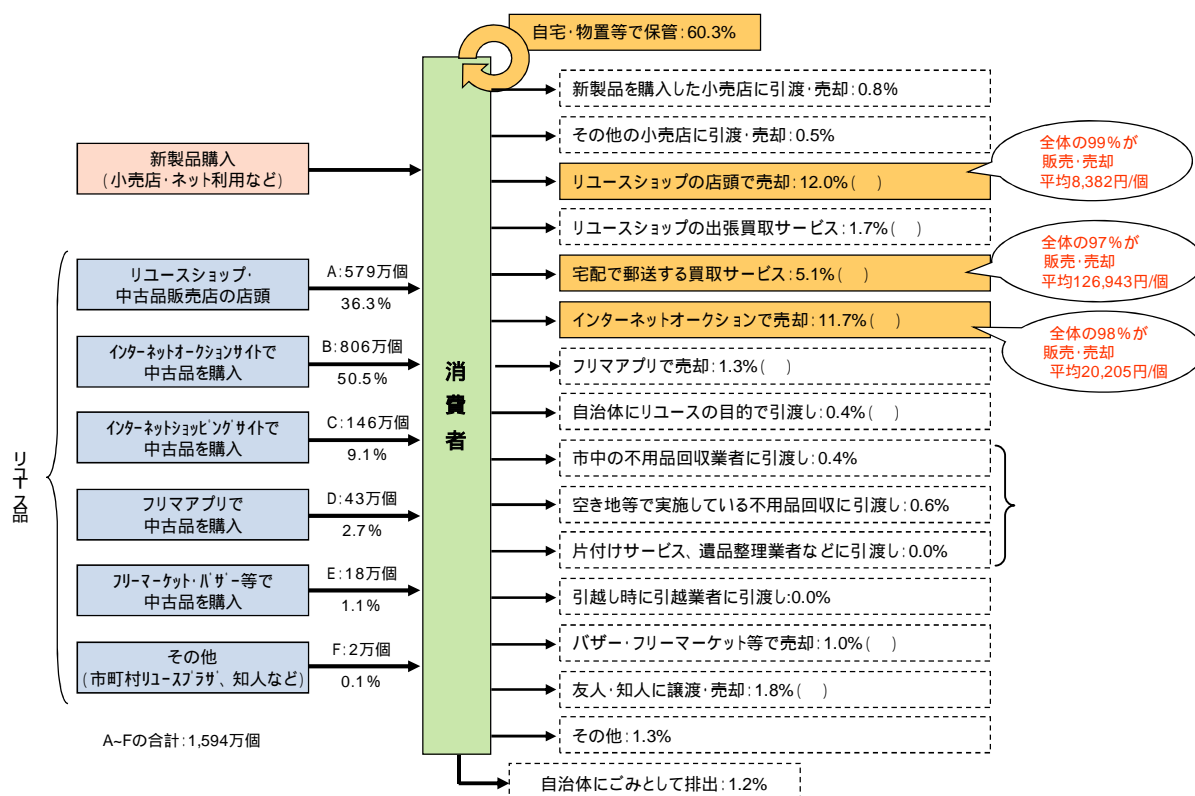
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したブランド品は1,594万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが50.5%、806万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が36.3%、579万個、「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものが、9.1%、146万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が12.0%、「インターネットオークションで売却」が11.7%、「宅配で郵送するサービスで売却」が5.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%を占め、平均8,382円/個となっている。次いで「インターネットオークションで売却」は販売・売却が98%を占め、平均20,205円/個、「宅配で郵送する買取サービスで売却」は販売・売却が97%、平均126,943円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の35.1%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の87.8%を占めると推計される。

図表 8 ブランド品の排出・流通実態の推計



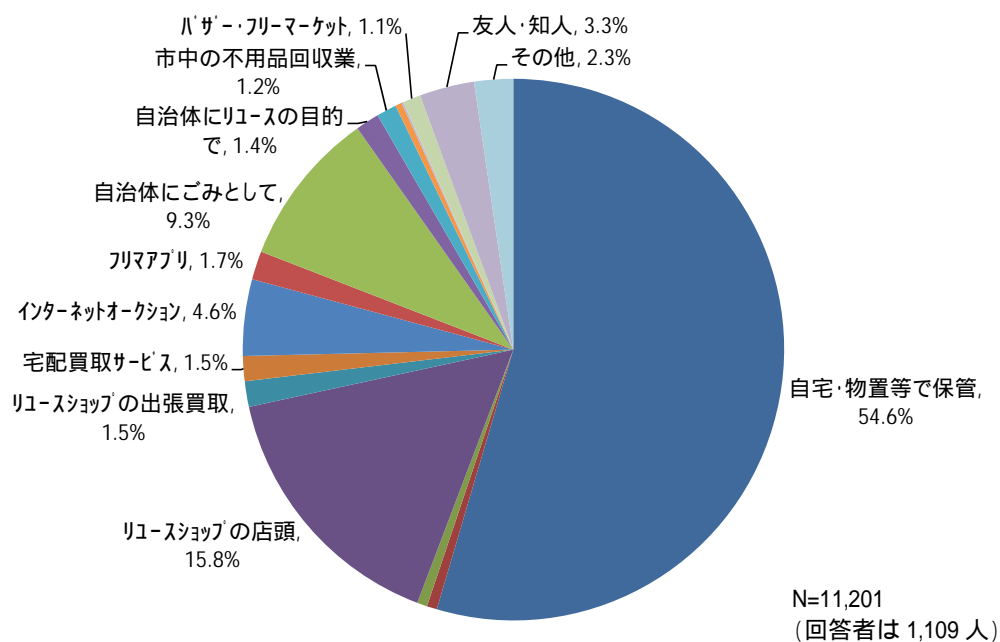
注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。
 注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。
 (詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

3. ブランド品を除く衣類・服飾品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の個数は11,201個(1,109人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く54.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が15.8%、「自治体にごみとして廃棄」が9.3%と続く。

図表 9 不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

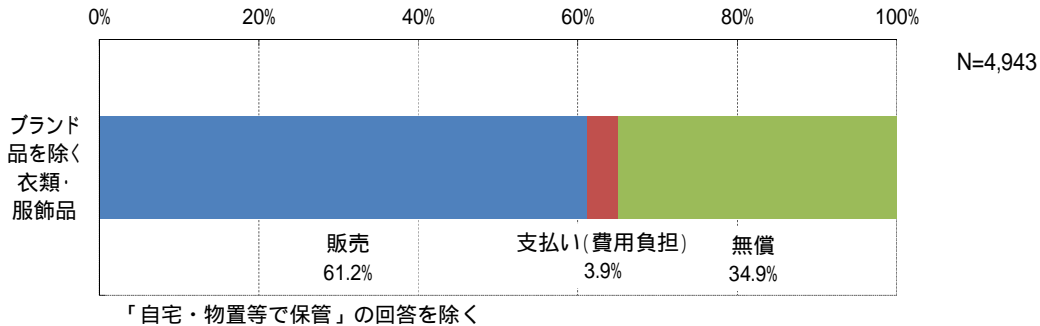
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 61.2%、次いで「無償」が 34.9%、「支払い(費用負担)」は 3.9%となっている(図表 10)。また、「販売」の際の平均単価は 3,553 円/個、「支払い(費用負担)」は 263 円/個となっている(図表 11)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.2%(1,297 円/個)、「無償」が 3.3%となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 83.4%、「支払い(費用負担)」が 14.2%(174 円/個)、「販売」が 2.4%(2,205 円/個)、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 98.9%(9,761 円/個)、「無償」が 1.1%となっている。

図表 10 排出・引渡時の費用について(ブランド品を除く衣類・服飾品)



図表 11 排出・引渡先別の割合・費用について(ブランド品を除く衣類・服飾品)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	6,258	54.6%	-	-	-	-	-	-	6,258	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	71	0.6%	46	64.8%	654	-	-	-	25	35.2%
その他の小売店に引渡し・売却	69	0.6%	31	44.9%	1,016	-	-	-	38	55.1%
リユースショップの店頭で売却	1,814	15.8%	1,745	96.2%	1,297	10	0.6%	100	59	3.3%
リユースショップの出張買取サービス	175	1.5%	157	89.7%	6,796	-	-	-	18	10.3%
宅配で郵送する買取サービス	172	1.5%	165	95.9%	2,874	-	-	-	7	4.1%
インターネットオークションで売却	522	4.6%	516	98.9%	9,761	-	-	-	6	1.1%
フリマアプリで売却	196	1.7%	185	94.4%	7,713	-	-	-	11	5.6%
自治体にごみとして廃棄	1,070	9.3%	26	2.4%	2,205	152	14.2%	174	892	83.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	162	1.4%	1	0.6%	25,000	20	12.3%	1,000	141	87.0%
不用品回収業者に引渡し	138	1.2%	-	-	-	10	7.2%	300	128	92.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	45	0.4%	-	-	-	-	-	-	45	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	0.1%	-	-	-	-	-	-	10	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	4	0.0%	-	-	-	-	-	-	4	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	122	1.1%	116	95.1%	987	-	-	-	6	4.9%
友人・知人に譲渡・売却	373	3.3%	39	10.5%	5,846	-	-	-	334	89.5%
その他	268	2.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	11,469	100.0%	3,027	27.0%	3,553	192	1.7%	263	7,982	71.3%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

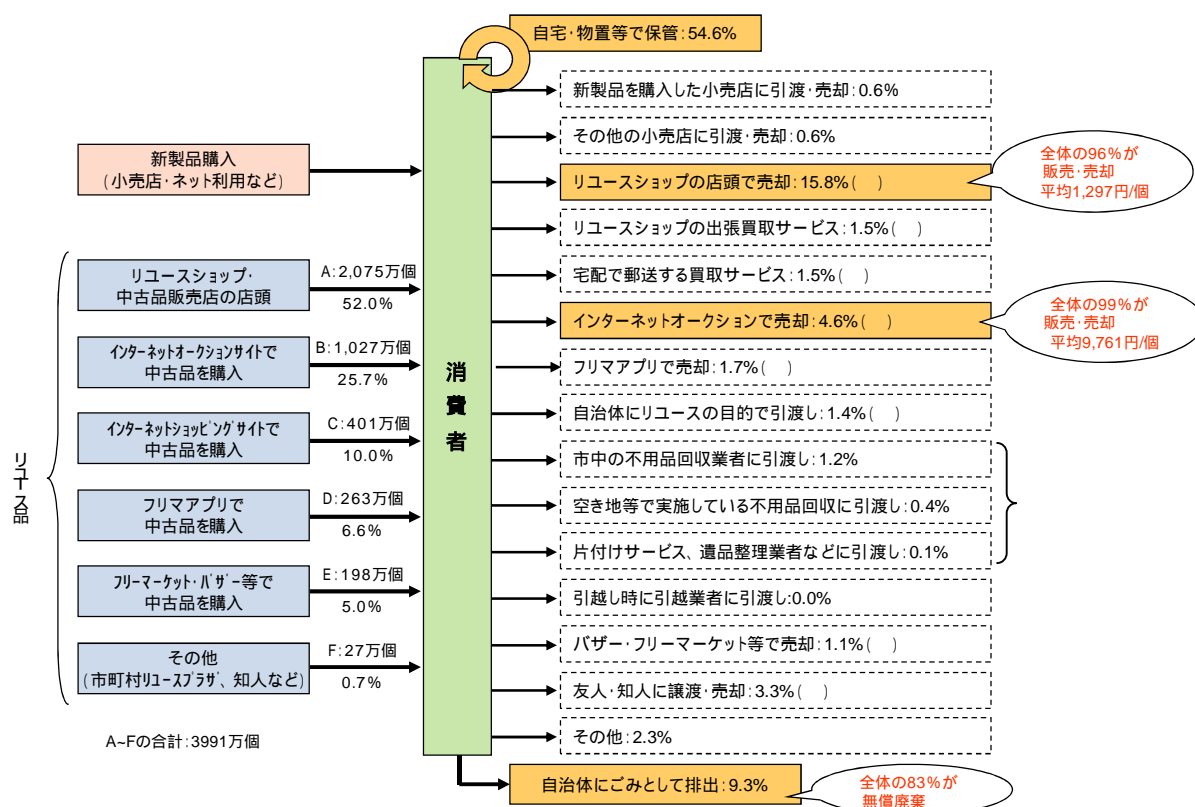
3) ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は3,991万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが52.0%、2,075万個、「インターネットオークションサイト」が25.7%、1,027万個、「インターネットショッピングサイト」が10.0%、401万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡について「自宅・物置等で保管」が最も多く54.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が15.8%、「自治体にごみとして廃出」が9.3%、「インターネットオークションで売却」が4.6%と続く。排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が96%を占め、その費用は平均1,297円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が83%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が99%、平均9,761円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の30.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の67.6%を占めると推計される。

図表 12 ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

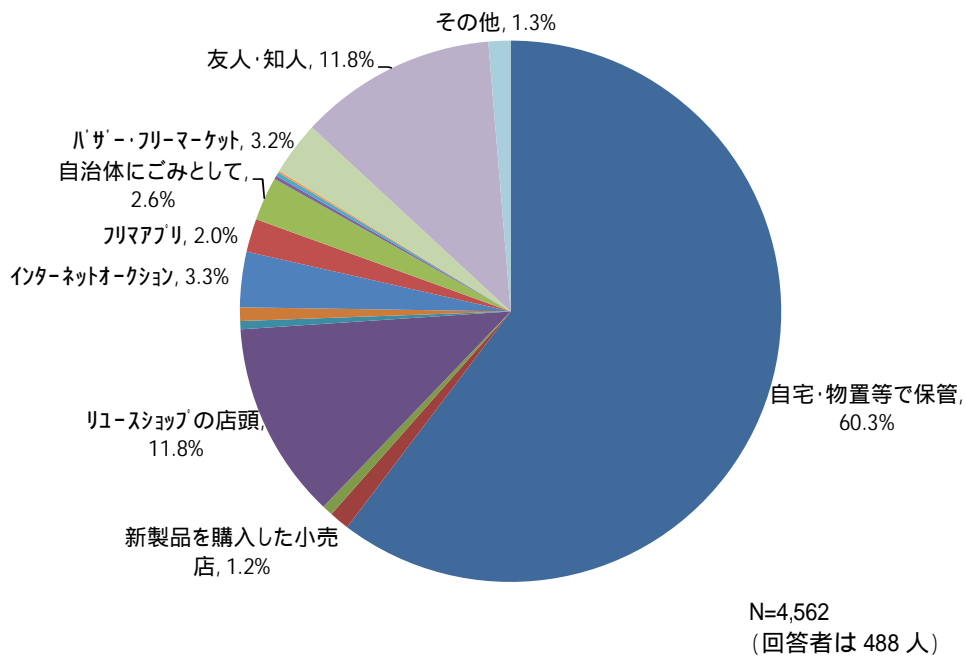
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

4 . ベビー・子供用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったベビー・子供用品の個数は4,562個（488人からの回答）。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が11.8%、「リユースショップの店頭で売却」が11.8%、「自治体にごみとして廃棄」が2.6%と続く。

図表 13 不用となったベビー・子供用品の排出先別の割合（個）



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

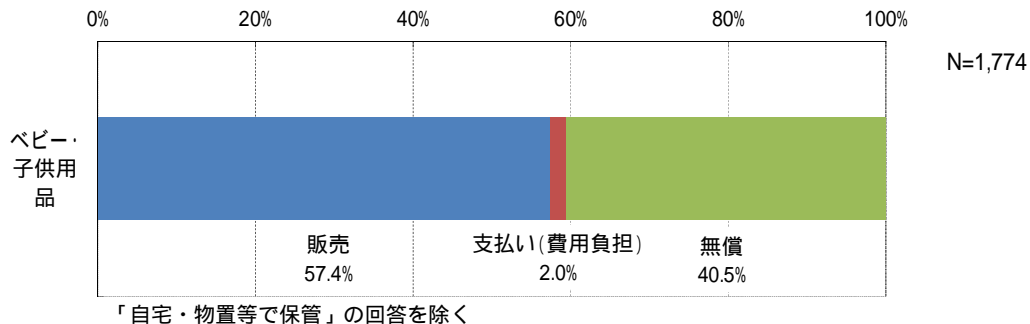
2) 不用品の排出における費用について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 57.4%、次いで「無償」が 40.5%、「支払い(費用負担)」は 2.0%となっている(図表 14)。また、「販売」の際の平均単価は 2,191 円/個、「支払い(費用負担)」は 300 円/個となっている(図表 15)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「友人・知人に譲渡・売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに続き、「友人・知人に譲渡・売却」のうち 96.1%が「無償」となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 96.9%(1,223 円/個)、「無償」が 3.1%、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 99.3%、「無償」が 0.7%となっている。

図表 14 排出・引渡時の費用について(ベビー・子供用品)



図表 15 排出・引渡先別の割合・費用について(ベビー・子供用品)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,788	60.3%	-	-	-	-	-	2,788	100.0%	
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	56	1.2%	26	46.4%	1,692	-	-	30	53.6%	
その他の小売店に引渡し・売却	29	0.6%	28	96.6%	804	-	-	1	3.4%	
リユースショップの店頭で売却	545	11.8%	528	96.9%	1,223	-	-	17	3.1%	
リユースショップの出張買取サービス	23	0.5%	20	87.0%	600	-	-	3	13.0%	
宅配で郵送する買取サービス	37	0.8%	17	45.9%	3,176	1	2.7%	500	51.4%	
インターネットオークションで売却	153	3.3%	152	99.3%	7,303	-	-	1	0.7%	
フリマアプリで売却	92	2.0%	82	89.1%	2,332	-	-	10	10.9%	
自治体にごみとして廃棄	120	2.6%	-	-	-	32	26.7%	322	88	73.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	10	0.2%	4	40.0%	2,233	-	-	6	60.0%	
不用品回収業者に引渡し	11	0.2%	1	9.1%	5,000	-	-	10	90.9%	
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.1%	-	-	-	-	-	5	100.0%	
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	
バザー・フリーマーケット等で売却	148	3.2%	140	94.6%	271	3	2.0%	3	5	3.4%
友人・知人に譲渡・売却	545	11.8%	21	3.9%	4,810	-	-	524	96.1%	
その他	61	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	
合計	4,623	100.0%	1,019	22.3%	2,191	36	0.8%	300	3,507	76.9%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計

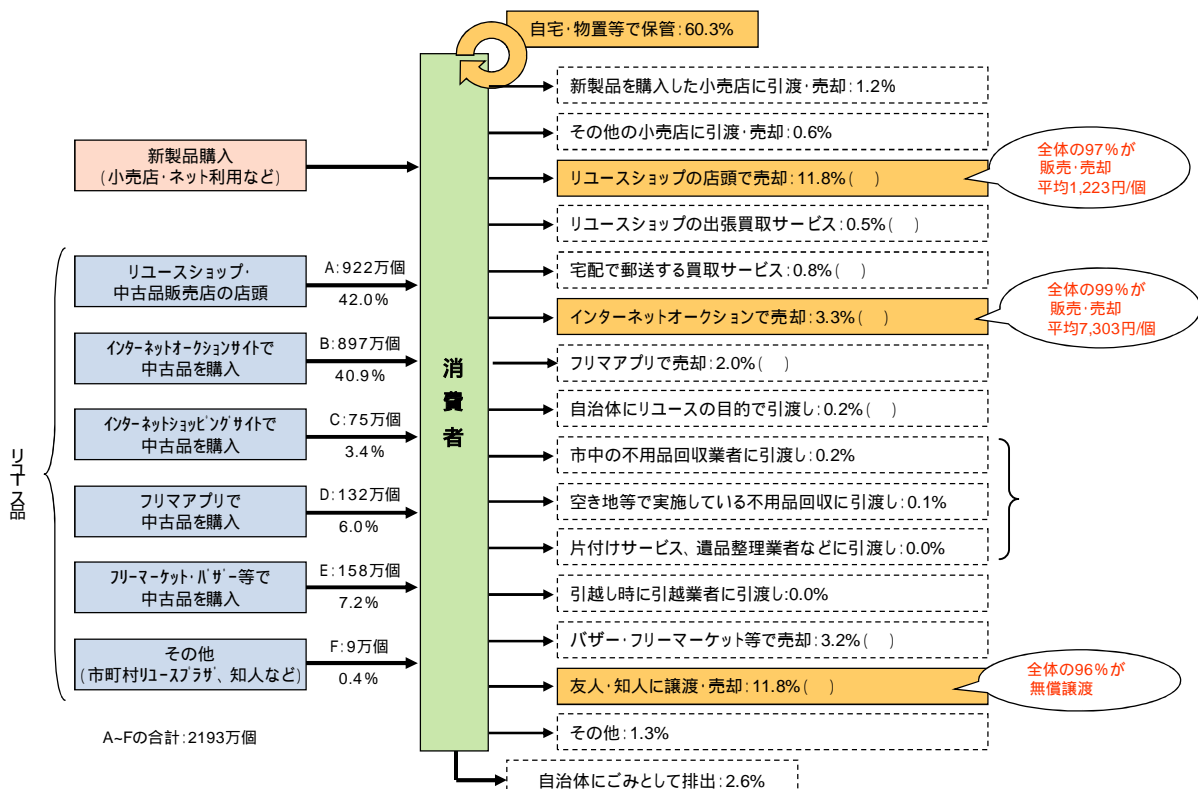
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したベビー・子供用品は2,193万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが42%、922万個、「インターネットオークションサイト」が40.9%、897万個、「フリーマーケット・バザー」が7.2%、158万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったベビー・子供用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が11.8%、同じく「リユースショップの店頭で売却」が11.8%、「インターネットオークションで売却」が3.3%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が97%、平均1,223円/個、「友人・知人に譲渡・売却」では無償譲渡が96%を占めている。「インターネットオークションで売却」では販売・売却が99%、平均7,303円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の33.6%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の82.4%を占めると推計される。

図表 16 ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

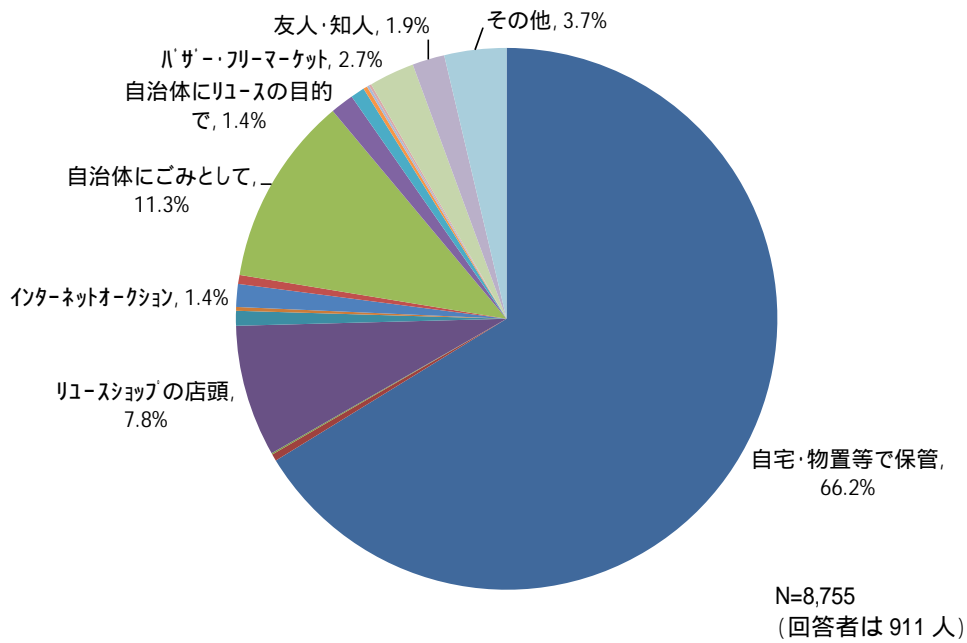
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

5 . 日用品・生活雑貨

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった日用品・生活雑貨の個数は8,755個(911人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く66.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が11.3%、「リユースショップの店頭で売却」が7.8%と続く。

図表 17 不用となった日用品・生活雑貨の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

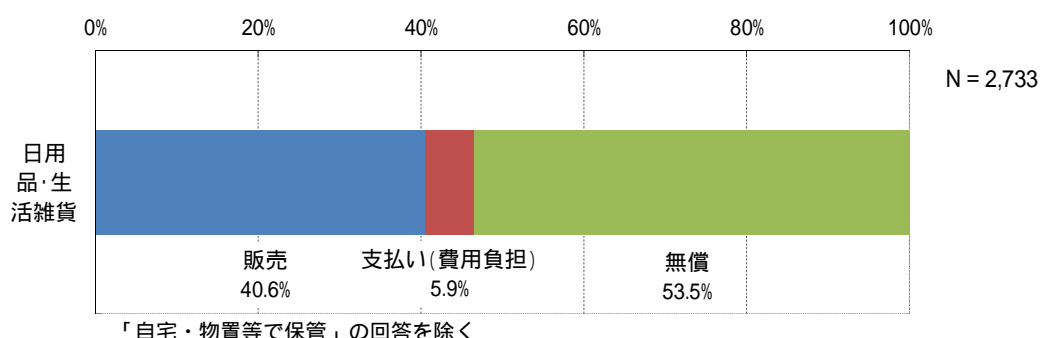
2) 不用品の排出における費用について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 53.5%、次いで「販売」が 40.6%、「支払い(費用負担)」は 5.9%となっている(図表 18)。また、「販売」の際の平均単価は 4,237 円/個、「支払い(費用負担)」は 1,303 円/個となっている(図表 19)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち「無償」が 89.7%、「支払い(費用負担)」が 10.3%(541 円/個)となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 95.0%(428 円/個)、「無償」が 5.0%となっている。

図表 18 排出・引渡時の費用について(日用品・生活雑貨)



図表 19 排出・引渡先別の割合・費用について(日用品・生活雑貨)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	6,022	66.2%	-	-	-	-	-	-	6,022	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	37	0.4%	29	78.4%	636	-	-	-	8	21.6%
その他の小売店に引渡し・売却	9	0.1%	5	55.6%	140	-	-	-	4	44.4%
リユースショップの店頭で売却	713	7.8%	677	95.0%	428	-	-	-	36	5.0%
リユースショップの出張買取サービス	80	0.9%	80	100.0%	15,429	-	-	-	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	21	0.2%	17	81.0%	2,141	-	-	-	4	19.0%
インターネットオークションで売却	124	1.4%	120	96.8%	21,138	-	-	-	4	3.2%
フリマアプリで売却	49	0.5%	42	85.7%	7,557	1	2.0%	10,000	6	12.2%
自治体にごみとして廃棄	1,028	11.3%	-	-	-	106	10.3%	541	922	89.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	127	1.4%	-	-	-	31	24.4%	1,000	96	75.6%
不用品回収業者に引渡し	77	0.8%	-	-	-	17	22.1%	647	60	77.9%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	22	0.2%	1	4.5%	89,220	-	-	-	21	95.5%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	0.1%	-	-	-	-	-	-	12	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	12	0.1%	-	-	-	6	50.0%	16,750	6	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	247	2.7%	128	51.8%	1,298	-	-	-	119	48.2%
友人・知人に譲渡・売却	175	1.9%	10	5.7%	1,000	-	-	-	165	94.3%
その他	337	3.7%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	9,092	100.0%	1,109	12.7%	4,237	161	1.8%	1,303	7,485	85.5%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計

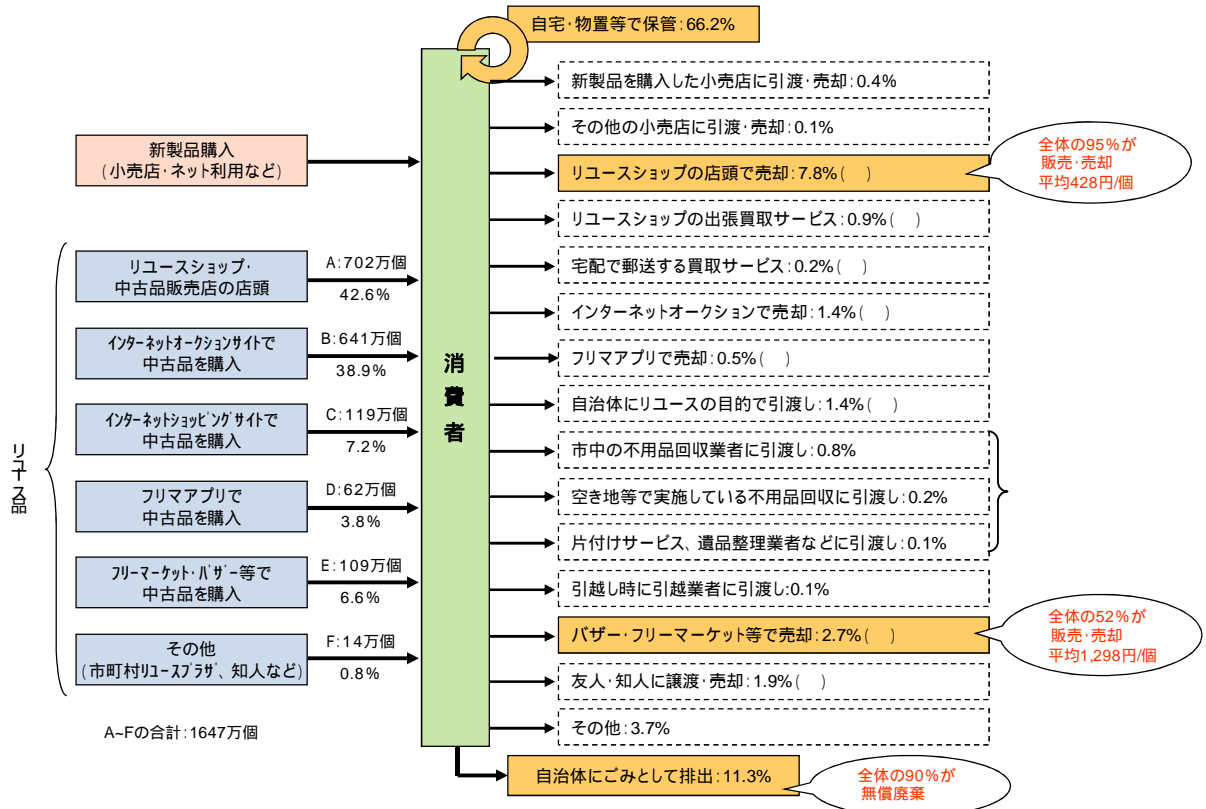
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した日用品・生活雑貨は1647万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが42.6%、702万個、「インターネットオークションサイト」が38.9%、641万個、「インターネットショッピングサイト」が7.2%、119万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く66.2%、次いで「自治体にごみとして廃出」が11.3%、「リユースショップの店頭で売却」が7.8%、「バザー・フリーマーケット等で売却」が2.7%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が95%、平均428円/個、「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が90%を占めている。「バザー・フリーマーケット等で売却」では販売・売却が52%、平均1,298円/個、となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の16.9%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の54.4%を占めると推計される。

図表 20 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

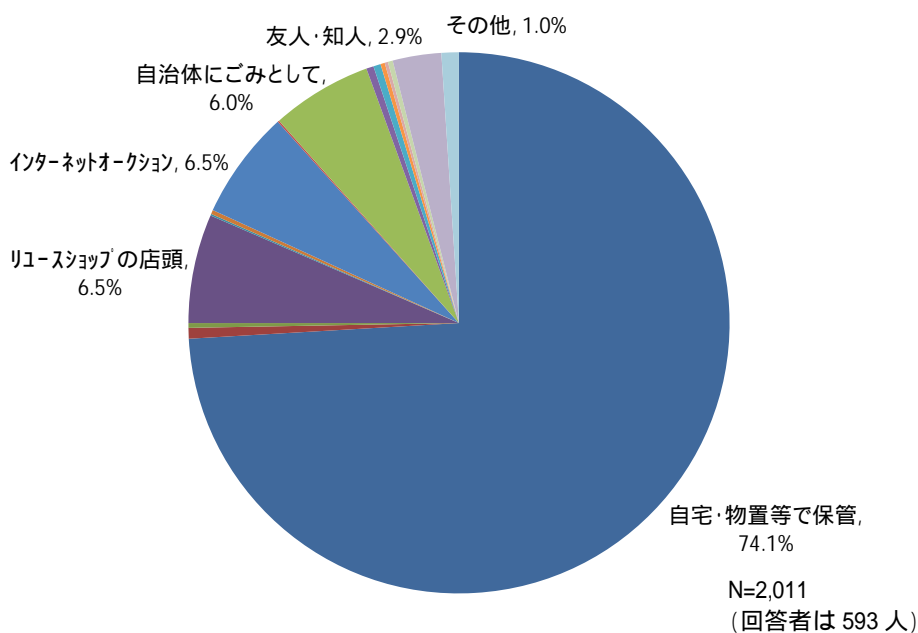
注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

6. スポーツ・レジャー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったスポーツ・レジャー用品の個数は2,011個（593人からの回答）排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く74.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」がともに6.5%、「自治体にごみとして廃棄」が6.0%と続く。

図表 21 不用となったスポーツ・レジャー用品の排出先別の割合（個）



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

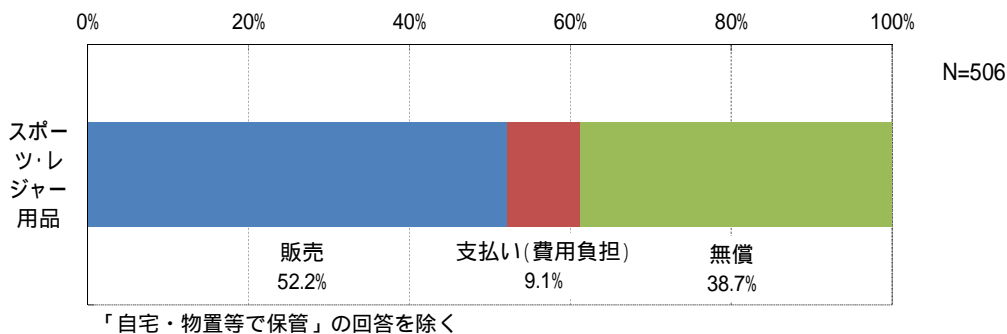
2) 不用品の排出における費用について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 52.2%、次いで「無償」が 38.7%、「支払い(費用負担)」は 9.1%となっている(図表 22)。また、「販売」の際の平均単価は 8,513 円/個、「支払い(費用負担)」は 1,379 円/個となっている(図表 23)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」がともに続き、「リユースショップの店頭で売却」のうち「販売」が 84.8%(6,592 円/個)、「無償」が 15.2%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 94.7%(9,765 円/個)、「無償」が 5.3%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 68.0%、「支払い(費用負担)」が 30.3%(363 円/個)、「販売」が 1.6%(100 円/個)となっている。

図表 22 排出・引渡時の費用について(スポーツ・レジャー用品)



図表 23 排出・引渡先別の割合・費用について(スポーツ・レジャー用品)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,505	74.1%	-	-	-	-	-	-	1,505	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	13	0.6%	7	53.8%	19,286	-	-	-	6	46.2%
その他の小売店に引渡し・売却	6	0.3%	2	33.3%	1,000	-	-	-	4	66.7%
リユースショップの店頭で売却	132	6.5%	112	84.8%	6,592	-	-	-	20	15.2%
リユースショップの出張買取サービス	2	0.1%	2	100.0%	50,000	-	-	-	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	5	0.2%	5	100.0%	9,240	-	-	-	0	0.0%
インターネットオークションで売却	132	6.5%	125	94.7%	9,765	-	-	-	7	5.3%
フリマアプリで売却	2	0.1%	1	50.0%	1,000	1	50.0%	1,000	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	122	6.0%	2	1.6%	100	37	30.3%	363	83	68.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	9	0.4%	-	-	-	1	11.1%	500	8	88.9%
不用品回収業者に引渡し	9	0.4%	-	-	-	5	55.6%	1,700	4	44.4%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.2%	-	-	-	-	-	-	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
引越し時に引越業者に引渡し	4	0.2%	-	-	-	2	50.0%	20,000	2	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	6	0.3%	5	83.3%	200	-	-	-	1	16.7%
友人・知人に譲渡・売却	59	2.9%	3	5.1%	1,000	-	-	-	56	94.9%
その他	21	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,032	100.0%	264	13.1%	8,513	46	2.3%	1,379	1,701	84.6%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計

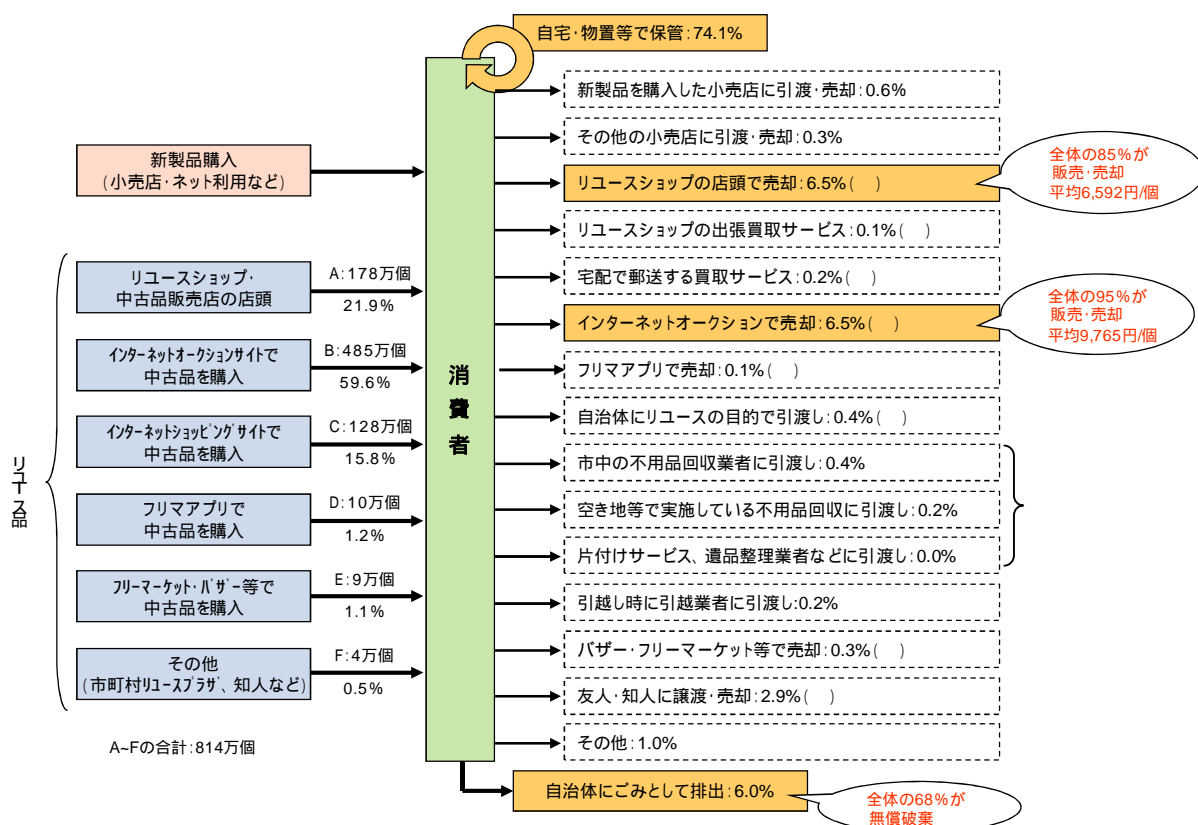
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したスポーツ・レジャー用品は814万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが59.6%、485万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が21.9%、178万個、「インターネットショッピングサイト」は15.8%、128万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く74.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」が共に6.5%、「自治体にごみとして排出」が6.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%、平均9,765円/個、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が85%を占め、平均6,592円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償破棄が68%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の17.1%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の68.2%を占めると推計される。

図表 24 スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

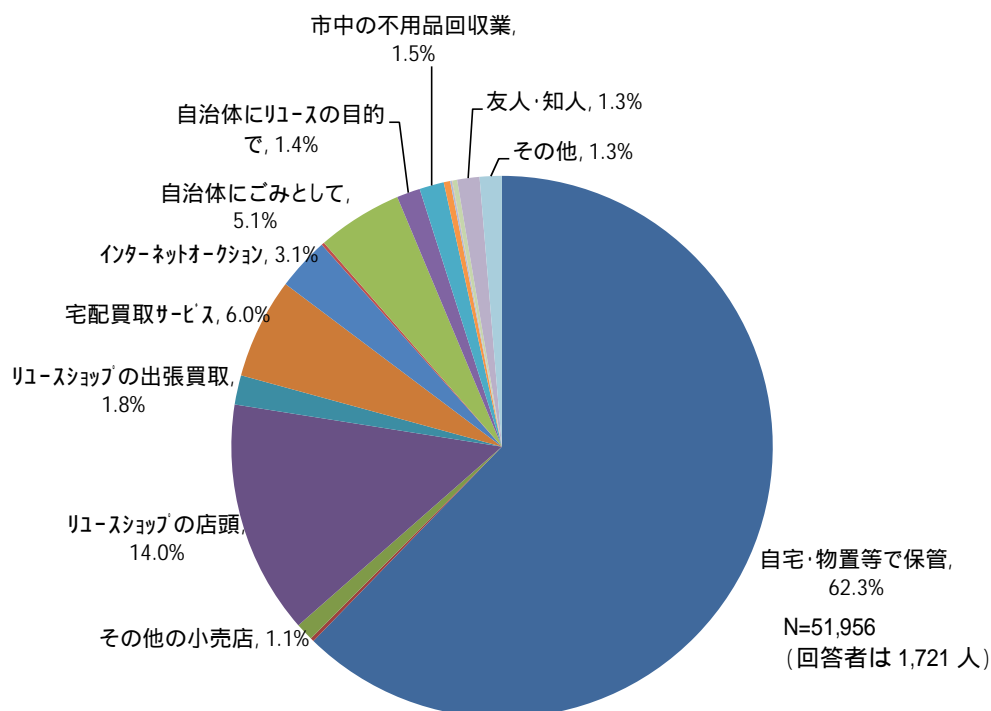
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

7. 書籍

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった書籍の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった書籍の冊数は51,956冊(1,721人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く62.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が14.0%、「宅配買取サービスで売却」が6.0%、「自治体にごみとして廃棄」が5.1%と続く。

図表 25 不用となった書籍の排出先別の割合(冊)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

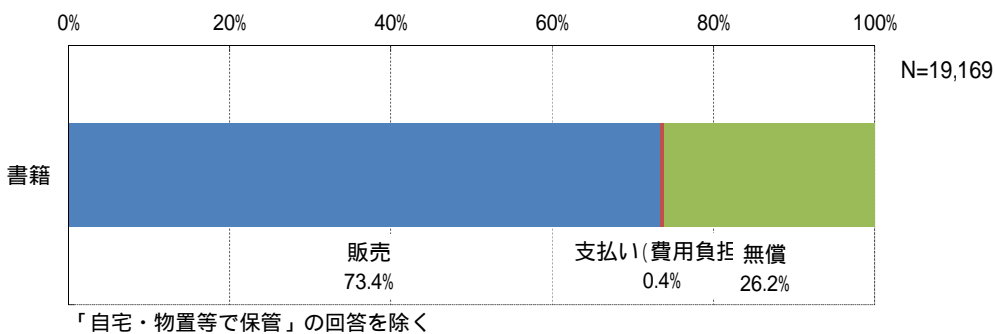
2) 不用品の排出における費用について

不用となった書籍の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 73.4%、次いで「無償」が 26.2%、「支払い(費用負担)」は 0.4%となっている(図表 26)。また、「販売」の際の平均単価は 3,934 円/冊、「支払い(費用負担)」は 356 円/冊となっている(図表 27)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.6%(2,069 円/冊)、「無償」が 3.3%となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 95.1%(1,724 円/冊)、「無償」が 4.9%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 78.2%、「支払い(費用負担)」が 0.9%(70 円/冊)となっている。

図表 26 排出・引渡時の費用について(書籍)



図表 27 排出・引渡先別の割合・費用について(書籍)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	32,787	62.3%	-	-	-	-	-	-	32,787	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	113	0.2%	95	84.1%	282	1	0.9%	2,300	17	15.0%
その他の小売店に引渡し・売却	559	1.1%	457	81.8%	1,004	-	-	-	102	18.2%
リユースショップの店頭で売却	7,348	14.0%	7,101	96.6%	2,069	5	0.1%	1,000	242	3.3%
リユースショップの出張買取サービス	924	1.8%	852	92.2%	1,882	-	-	-	72	7.8%
宅配で郵送する買取サービス	3,160	6.0%	3,005	95.1%	1,724	-	-	-	155	4.9%
インターネットオークションで売却	1,656	3.1%	1,642	99.2%	20,072	-	-	-	14	0.8%
フリマアプリで売却	84	0.2%	83	98.8%	1,752	-	-	-	1	1.2%
自治体にごみとして廃棄	2,687	5.1%	560	20.8%	121	25	0.9%	70	2,102	78.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	738	1.4%	-	-	-	10	1.4%	250	728	98.6%
不用品回収業者に引渡し	775	1.5%	200	25.8%	525	15	1.9%	300	560	72.3%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	205	0.4%	-	-	-	-	-	-	205	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	46	0.1%	35	76.1%	123	10	21.7%	1,000	1	2.2%
引越し時に引越業者に引渡し	20	0.0%	-	-	-	10	50.0%	100	10	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	149	0.3%	12	8.1%	502	-	-	-	137	91.9%
友人・知人に譲渡・売却	705	1.3%	33	4.7%	3,636	-	-	-	672	95.3%
その他	695	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	52,651	100.0%	14,075	27.1%	3,934	76	0.1%	356	37,805	72.8%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 書籍の排出・流通実態の推計

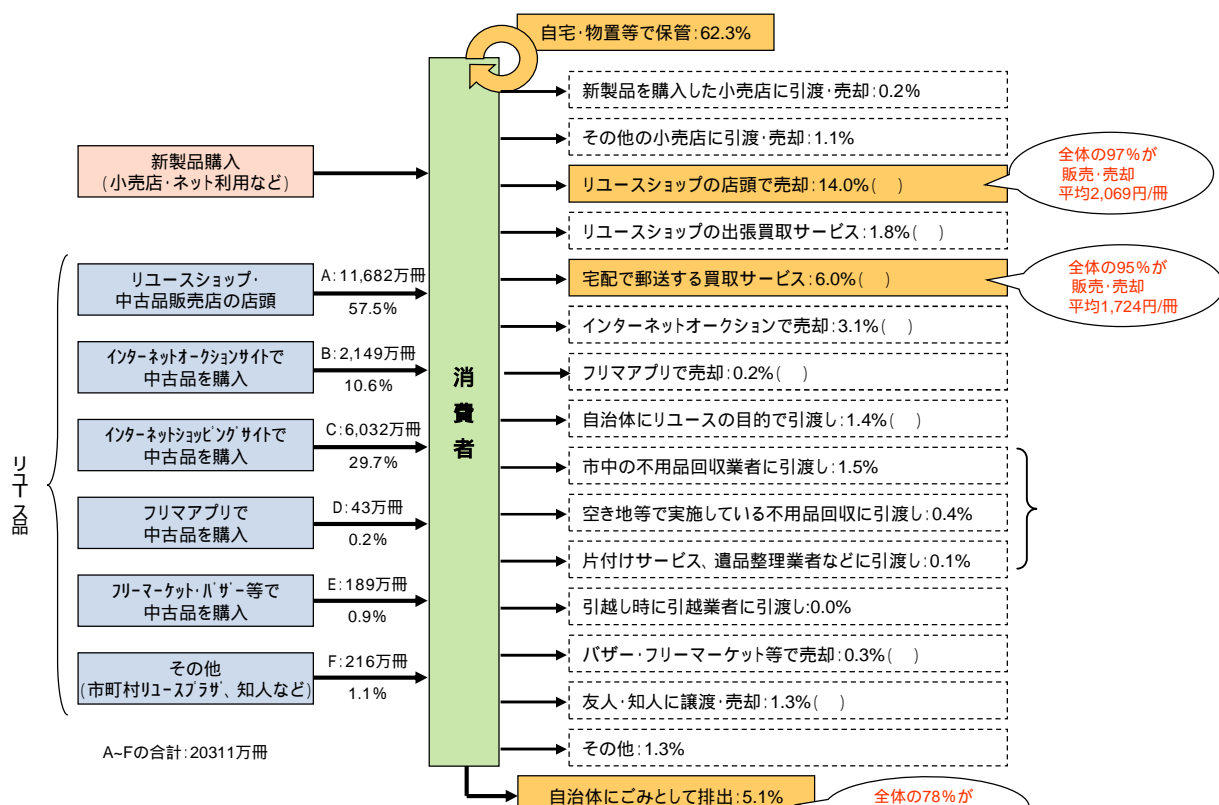
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した書籍は 20,311 万冊、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 57.5%、11,682 万冊、「インターネットショッピングサイト」が 29.7%、6,032 万冊、「インターネットオークションサイト」が 10.6%、2,149 万冊と推計される。

また、過去1年間で不用となった書籍の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 62.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が 14.0%、「宅配で郵送する買取サービス」が 6.0%、「自治体にごみとして排出」が 5.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 97%を占め、平均 2,069 円/冊となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却が 95%、平均 1,724 円/冊、「自治体にごみとして排出」では無償破棄が 78%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の 28%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 76.6%を占めると推計される。

図表 28 書籍の排出・流通実態の推計



注) 図表中の 8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にごみとして排出」で郵送する買取サービス「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にごみとして排出」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

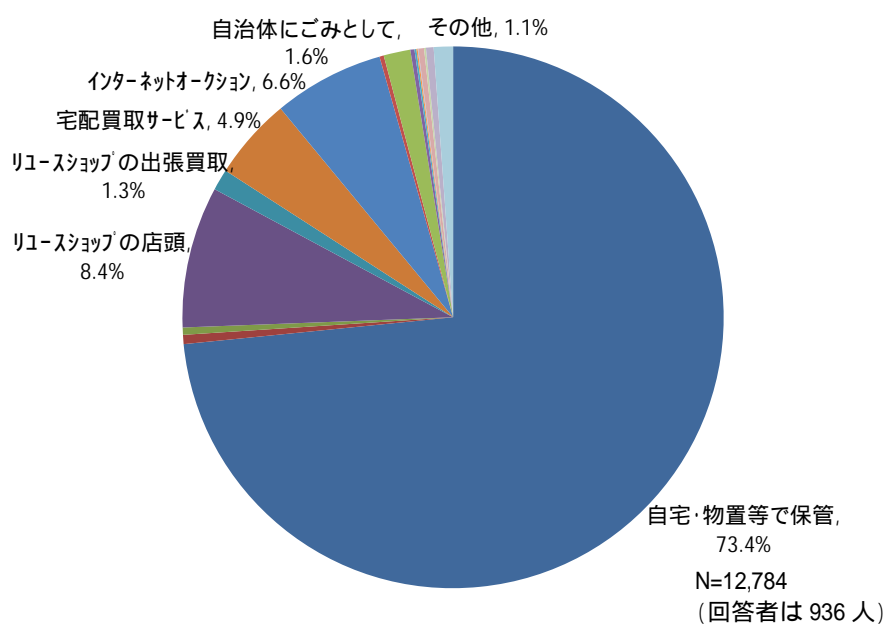
注) 図表中の 印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

8. ソフト・メディア類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったソフト・メディア類の個数は12,784個(936人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.4%、「インターネットオークションで売却」が6.6%、「宅配で郵送する買取サービスで売却」が4.9%と続く。

図表 29 不用となったソフト・メディア類の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

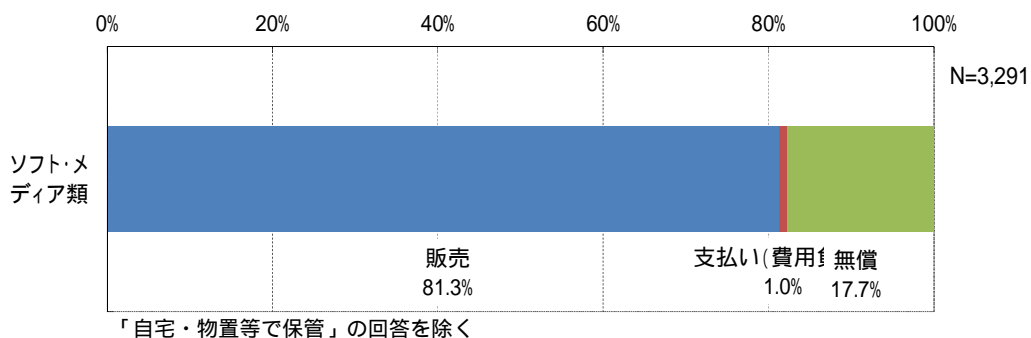
2) 不用品の排出における費用について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 81.3%、次いで「無償」が 17.7%、「支払い(費用負担)」は 1.0%となっている(図表 30)。また、「販売」の際の平均単価は 3,949 円/個、「支払い(費用負担)」は 319 円/個となっている(図表 31)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.2% (2,516 円/個)、「無償」が 3.8%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 80.6% (3,863 円/個)、「無償」が 19.4%、宅配で郵送する買取サービスでは「販売」が 96.4% (8,081 円/個)となっている。

図表 30 排出・引渡時の費用について(ソフト・メディア類)



図表 31 排出・引渡先別の割合・費用について(ソフト・メディア類)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	9,493	73.4%	-	-	-	-	-	-	9,493	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	73	0.6%	73	100.0%	918	-	-	-	0	0.0%
その他の小売店に引渡し・売却	56	0.4%	53	94.6%	3,087	-	-	-	3	5.4%
リユースショップの店頭で売却	1,091	8.4%	1,049	96.2%	2,516	-	-	-	42	3.8%
リユースショップの出張買取サービス	163	1.3%	158	96.9%	202	5	3.1%	1,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	633	4.9%	610	96.4%	8,081	1	0.2%	1,000	22	3.5%
インターネットオークションで売却	855	6.6%	689	80.6%	3,863	-	-	-	166	19.4%
フリマアプリで売却	33	0.3%	32	97.0%	1,963	1	3.0%	10	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	208	1.6%	-	-	-	24	11.5%	92	184	88.5%
自治体にリユースの目的で引渡し	32	0.2%	-	-	-	1	3.1%	2,000	31	96.9%
不用品回収業者に引渡し	14	0.1%	-	-	-	-	-	-	14	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	0.1%	-	-	-	-	-	-	10	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	5	0.0%	-	-	-	-	-	-	5	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	44	0.3%	-	-	-	-	-	-	44	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	16	0.1%	11	68.8%	545	-	-	-	5	31.3%
友人・知人に譲渡・売却	58	0.4%	-	-	-	-	-	-	58	100.0%
その他	147	1.1%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	12,931	100.0%	2,675	20.9%	3,949	32	0.3%	319	10,077	78.8%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したソフト・メディア類は6,067万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが45.8%、2,780万個、「インターネットショッピングサイト」が26.9%、1,633万個、「インターネットオークションサイト」が26.0%、1,579万個と推計される。

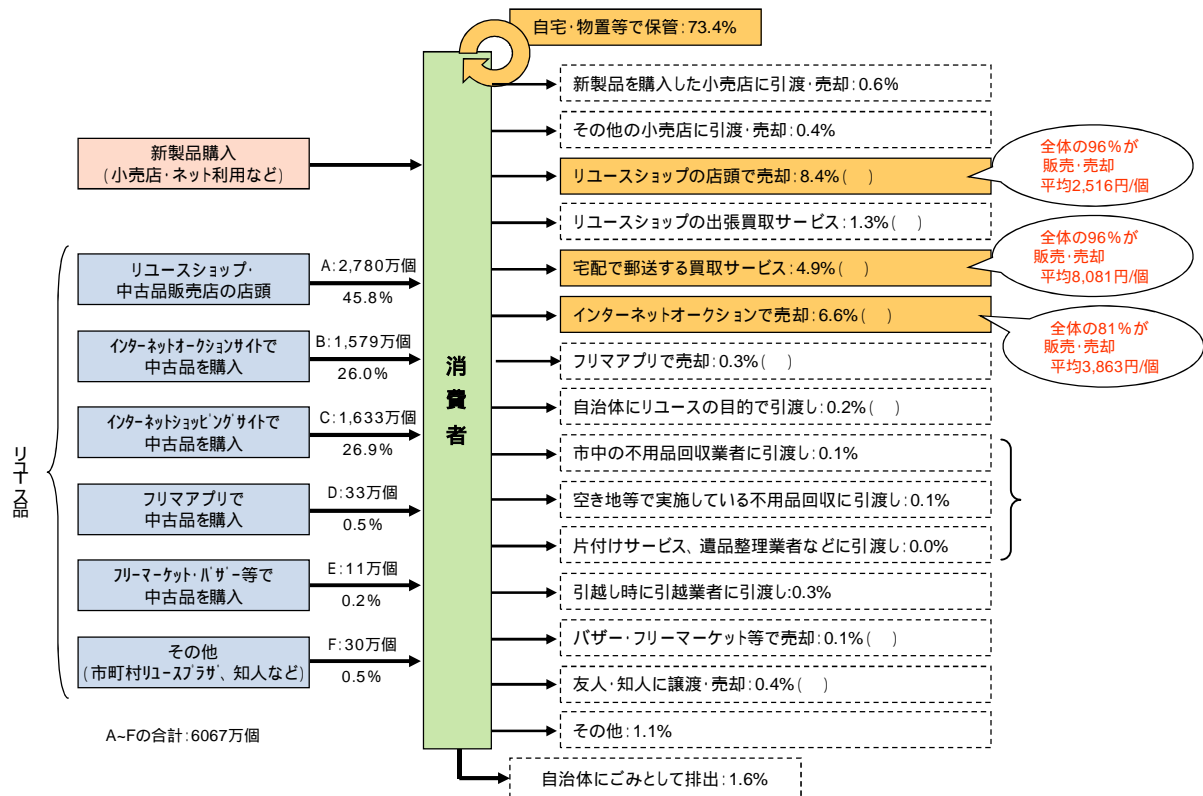
また、過去1年間で不用となったソフト・メディア類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.4%、「インターネットオークションで売却」が6.6%、「宅配で郵送する買取サービス」が4.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」と「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却がそれぞれ96%を占め、平均2,516円/個・平均8,081円/個となっている。

「インターネットオークションで売却」では販売・売却が81%、平均3,863円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の22.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の86.5%を占めると推計される。

図表 32 ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

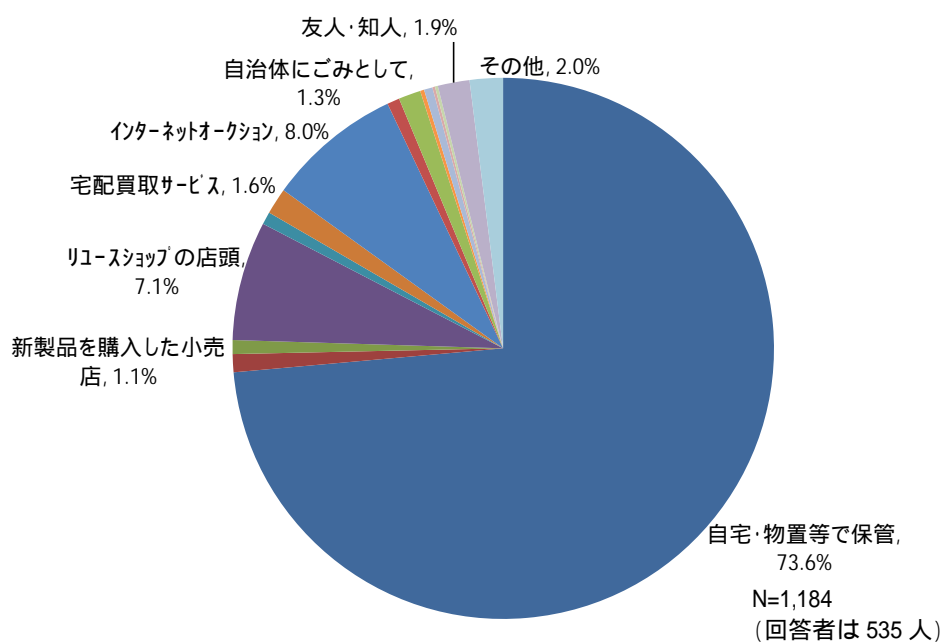
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

9 . ゲーム機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったゲーム機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったゲーム機器の個数は1,184個(535人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が8.0%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%、と続く。

図表 33 不用となったゲーム機器の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

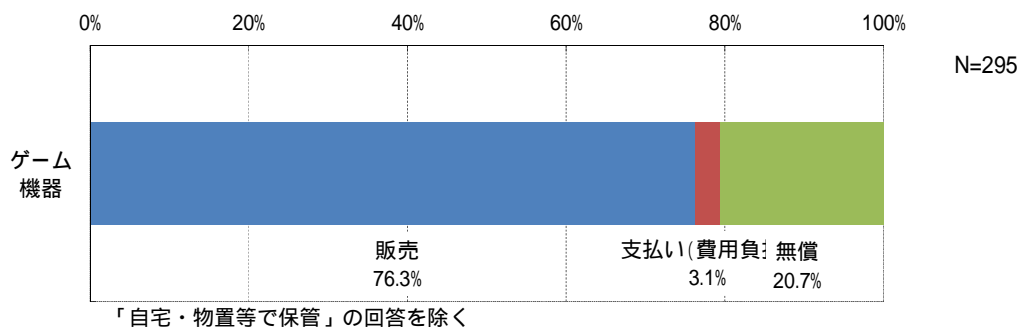
2) 不用品の排出における費用について

不用となったゲーム機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 76.3%、次いで「無償」が 20.7%、「支払い(費用負担)」は 3.1%となっている(図表 34)。また、「販売」の際の平均単価は 4,842 円/個、「支払い(費用負担)」は 11,722 円/個となっている(図表 35)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 91.8% (6,955 円/個)となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 94.2% (3,672 円/個)、「無償」が 5.8%、「友人知人に売却・譲渡」では「無償」が 100.0%となっている。

図表 34 排出・引渡時の費用について(ゲーム機器)



図表 35 排出・引渡先別の割合・費用について(ゲーム機器)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	889	73.6%	-	-	-	-	-	-	889	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	13	1.1%	12	92.3%	583	-	-	-	1	7.7%
その他の小売店に引渡し・売却	10	0.8%	9	90.0%	3,858	-	-	-	1	10.0%
リユースショップの店頭で売却	86	7.1%	81	94.2%	3,672	-	-	-	5	5.8%
リユースショップの出張買取サービス	9	0.7%	6	66.7%	1,017	3	33.3%	1,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	19	1.6%	18	94.7%	3,406	-	-	-	1	5.3%
インターネットオークションで売却	97	8.0%	89	91.8%	6,955	-	-	-	8	8.2%
フリマアプリで売却	9	0.7%	9	100.0%	6,667	-	-	-	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	16	1.3%	-	-	-	3	18.8%	167	13	81.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.2%	-	-	-	3	100.0%	34,000	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	6	0.5%	-	-	-	-	-	-	6	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	2	0.2%	-	-	-	-	-	-	2	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	2	0.2%	1	50.0%	4,000	-	-	-	1	50.0%
友人・知人に譲渡・売却	23	1.9%	-	-	-	-	-	-	23	100.0%
その他	24	2.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,208	100.0%	225	19.0%	4,842	9	0.8%	11,722	950	80.2%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ゲーム機器の排出・流通実態の推計

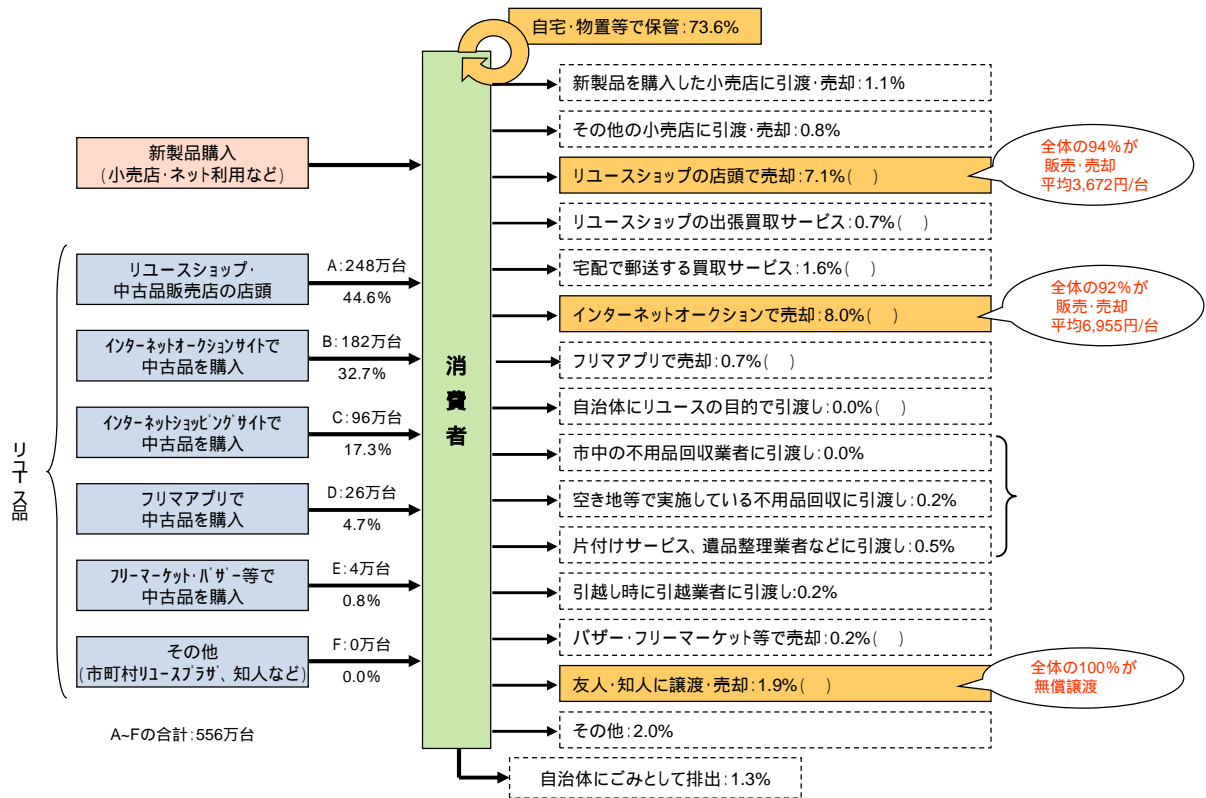
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したゲーム機器は556万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が44.6%、248万台。「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが32.7%、182万台、「インターネットショッピングサイト」が17.3%、96万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったゲーム機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が8.0%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%、「友人・知人に譲渡・売却」が1.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「友人・知人に譲渡・売却」は無償譲渡が100%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が92%、平均6,955円/台、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が94%を占め、平均3,672円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の20.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の80.0%を占めると推計される。

図表 36 ゲーム機器の排出・流通実態の推計

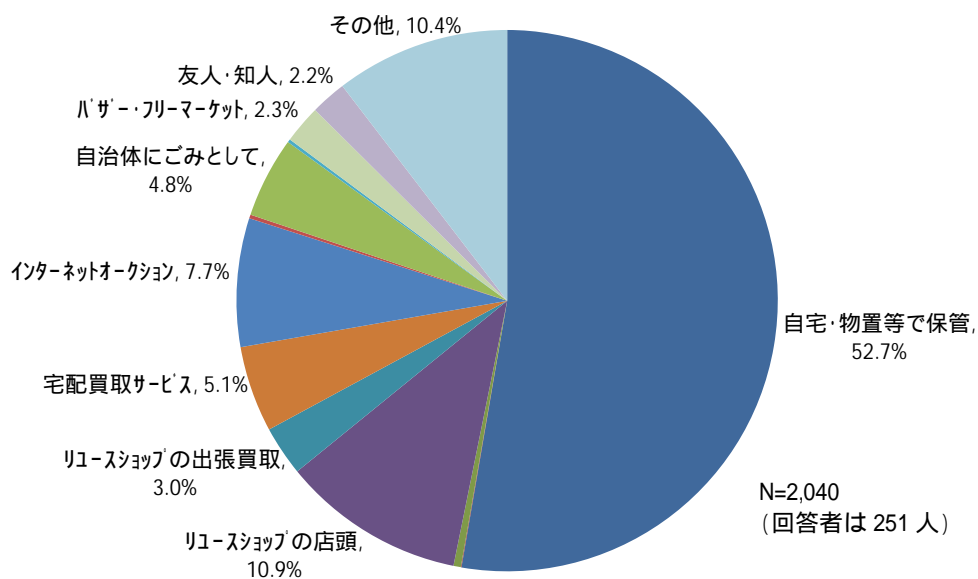


10 . 玩具・模型

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった玩具・模型の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった玩具・模型の個数は2,040個(251人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く52.7%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.9%、「その他」が10.4%、「インターネットオークションで売却」が7.7%、「宅配で郵送する買取サービスで売却」が5.1%と続く。

図表 37 不用となった玩具・模型の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

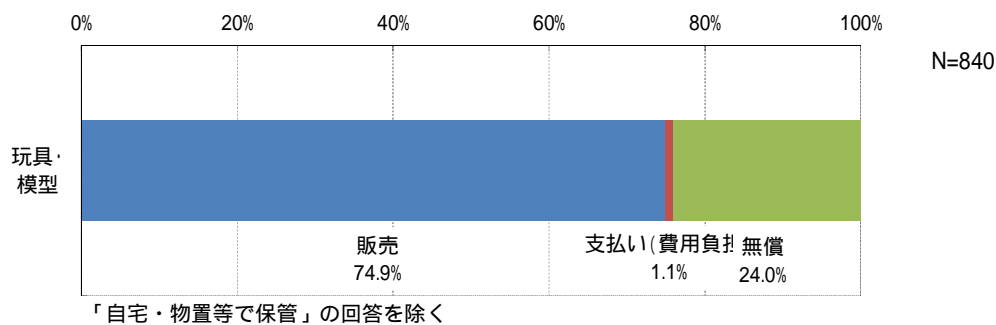
2) 不用品の排出における費用について

不用となった玩具・模型の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 74.9%、次いで「無償」が 24.0%、「支払い(費用負担)」は 1.1%となっている(図表 38)。また、「販売」の際の平均単価は 3,785 円/個、「支払い(費用負担)」は 10,380 円/個となっている(図表 39)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 98.8%(1,220 円/個)となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0%(7,666 円/個)、「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 99.1%(3,326 円/個)、「無償」が 0.9%となっている。

図表 38 排出・引渡時の費用について(玩具・模型)



図表 39 排出・引渡先別の割合・費用について(玩具・模型)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,200	52.7%	-	-	-	-	-	-	1,200	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	1	0.0%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
その他の小売店に引渡し・売却	10	0.4%	9	90.0%	195	1	10.0%	10	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	249	10.9%	246	98.8%	1,220	-	-	-	3	1.2%
リユースショップの出張買取サービス	68	3.0%	54	79.4%	602	-	-	-	14	20.6%
宅配で郵送する買取サービス	117	5.1%	116	99.1%	3,326	-	-	-	1	0.9%
インターネットオークションで売却	175	7.7%	175	100.0%	7,666	-	-	-	0	0.0%
フリマアプリで売却	5	0.2%	4	80.0%	3,800	-	-	-	1	20.0%
自治体にごみとして廃棄	110	4.8%	10	9.1%	300	3	2.7%	100	97	88.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
不用品回収業者に引渡し	4	0.2%	-	-	-	4	100.0%	23,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	52	2.3%	10	19.2%	100	-	-	-	42	80.8%
友人・知人に譲渡・売却	49	2.2%	5	10.2%	60,000	1	2.0%	1,111	43	87.8%
その他	237	10.4%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,277	100.0%	629	30.8%	3,785	9	0.4%	10,380	1,402	68.7%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 玩具・模型の排出・流通実態の推計

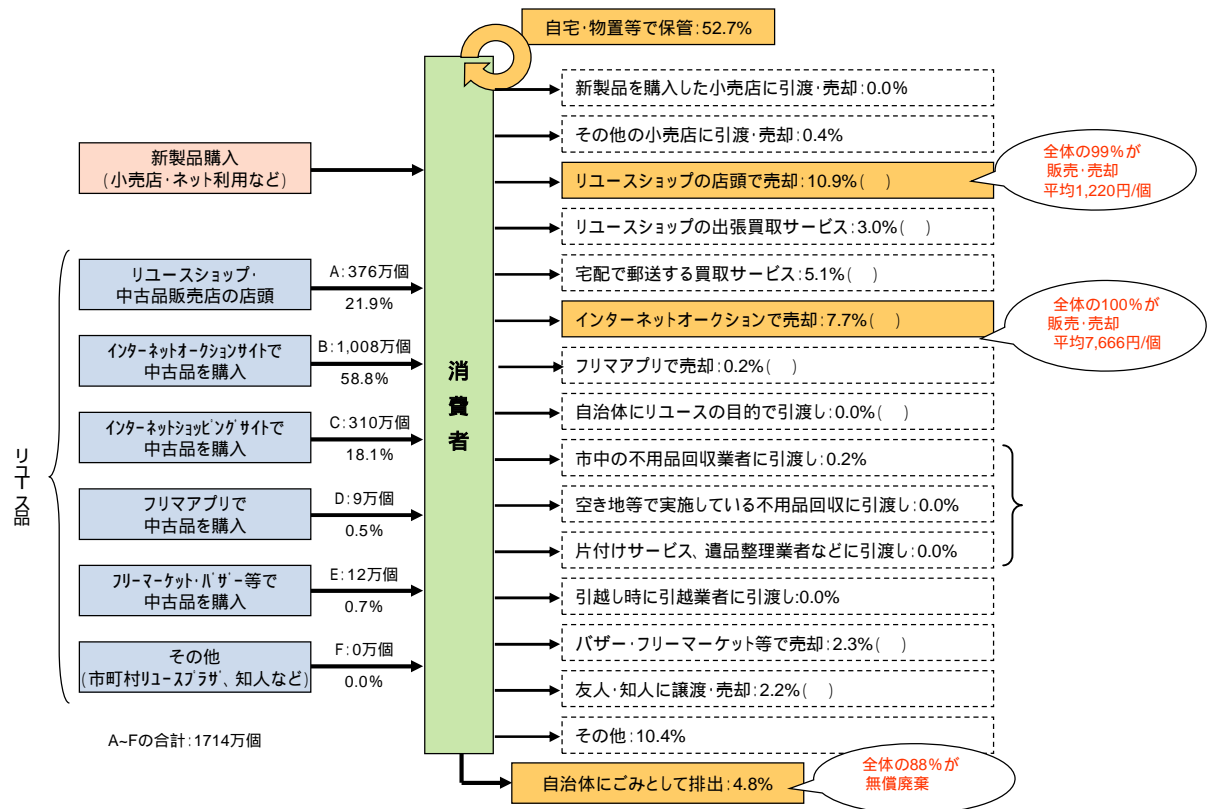
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した玩具・模型は1714万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが58.8%、1,008万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が21.9%、376万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった玩具・模型の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く52.7%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.9%、「インターネットオークションで売却」が7.7%、「自治体にごみとして排出」が4.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%、平均1,220円/個、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が100%を占め、平均7,666円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が88%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の31.4%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の84.5%を占めると推計される。

図表 40 玩具・模型の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

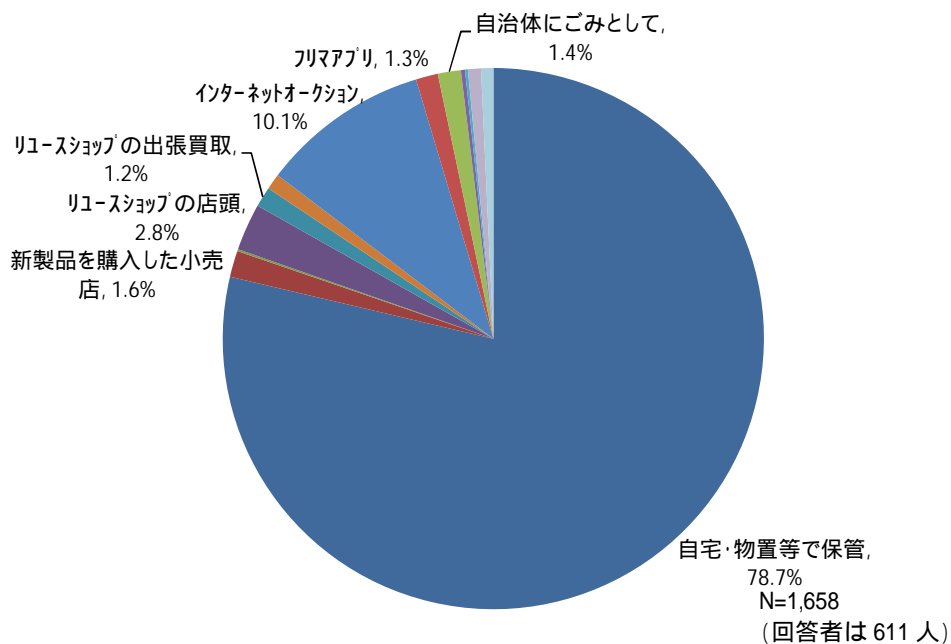
注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 1 . カメラ ・ 周辺機器

1) 使用済製品 ・ 不用品の排出 ・ 流通実態について

不用となったカメラ ・ 周辺機器の排出 ・ 引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去 1 年に不用となったカメラ ・ 周辺機器の個数は 1,658 個（611 人からの回答）。排出 ・ 引渡先は「自宅 ・ 物置等で保管」が最も多く 78.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が 10.1%、「リユースショップの店頭で売却」が 2.8%と続く。

図表 41 不用となったカメラ ・ 周辺機器の排出先別の割合（個）



当該製品の排出 ・ 引渡先が 1 種類の回答のみを集計。
構成比 1 % 以上のものの凡例 ・ 数値を表示

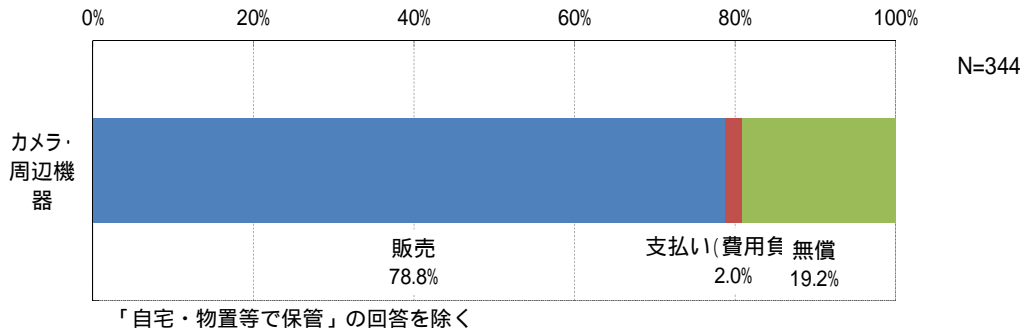
2) 不用品の排出における費用について

不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 78.8%、次いで「無償」が 19.2%、「支払い(費用負担)」は 2.0%となっている(図表 42)。また、「販売」の際の平均単価は 39,020 円/個、「支払い(費用負担)」は 1,743 円/個となっている(図表 43)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 95.2% (46,725 円/個)、「無償」が 4.8%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 93.6% (7,476 円/個)、「無償」が 6.4%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 87.0%、「支払い(費用負担)」が 13.0% (400 円/個)となっている。

図表 42 排出・引渡時の費用について(カメラ・周辺機器)



図表 43 排出・引渡先別の割合・費用について(カメラ・周辺機器)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,314	78.7%	-	-	-	-	-	-	1,314	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	26	1.6%	22	84.6%	7,389	-	-	-	4	15.4%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.1%	2	100.0%	20,000	-	-	-	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	47	2.8%	44	93.6%	7,476	-	-	-	3	6.4%
リユースショップの出張買取サービス	20	1.2%	18	90.0%	139,539	-	-	-	2	10.0%
宅配で郵送する買取サービス	16	1.0%	12	75.0%	3,500	2	12.5%	3,000	2	12.5%
インターネットオークションで売却	168	10.1%	160	95.2%	46,725	-	-	-	8	4.8%
フリマアプリで売却	22	1.3%	12	54.5%	842	-	-	-	10	45.5%
自治体にごみとして廃棄	23	1.4%	-	-	-	3	13.0%	400	20	87.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	4	0.2%	-	-	-	2	50.0%	2,500	2	50.0%
不用品回収業者に引渡し	3	0.2%	-	-	-	-	-	-	3	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
引渡し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	13	0.8%	1	7.7%	3,000	-	-	-	12	92.3%
その他	12	0.7%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,670	100.0%	271	16.3%	39,020	7	0.4%	1,743	1,380	83.2%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計

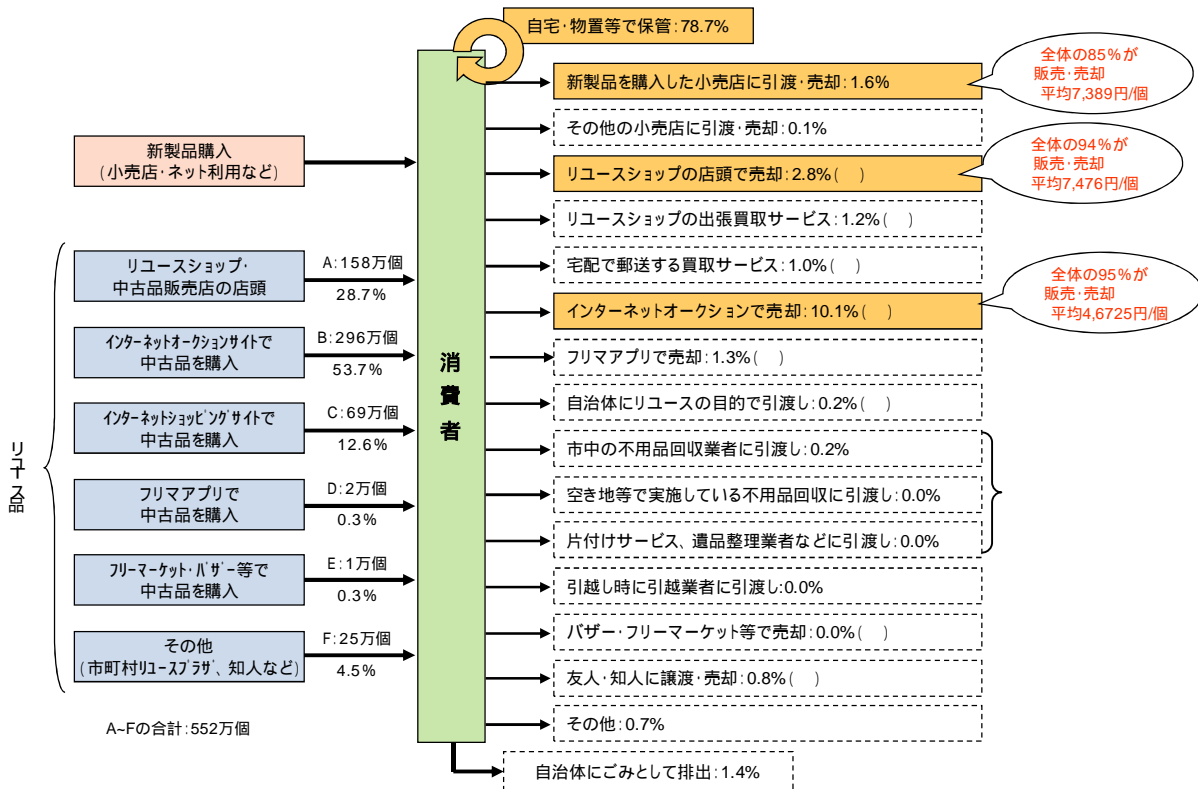
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカメラ・周辺機器は552万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが53.7%、296万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が28.7%、158万個、「インターネットショッピングサイト」が12.6%、69万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く78.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.1%、「リユースショップの店頭で売却」が2.8%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が1.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%占め、平均46,725円/個となっている。「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が94%平均7,476円/個、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では販売・売却が85%、平均7,389円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の17.4%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の77.9%を占めると推計される。

図表 44 カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

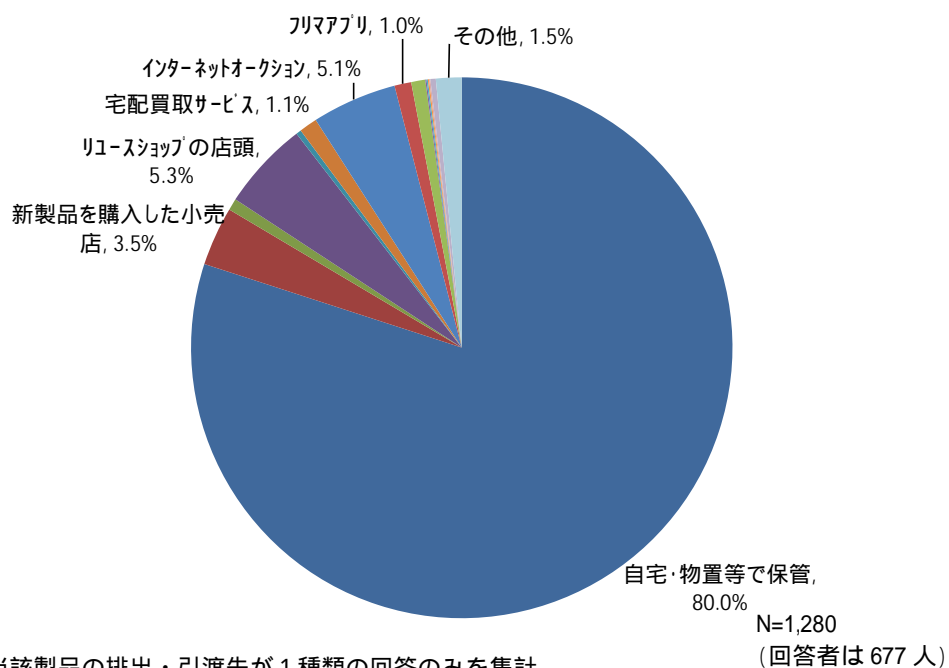
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 2 . 携帯電話・スマートフォン

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった携帯電話・スマートフォンの個数は1,280個(677人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く80.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が5.3%、「インターネットオークションで売却」が5.1%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が3.5%と続く。

図表 45 不用となった携帯電話・スマートフォンの排出先別の割合(個)



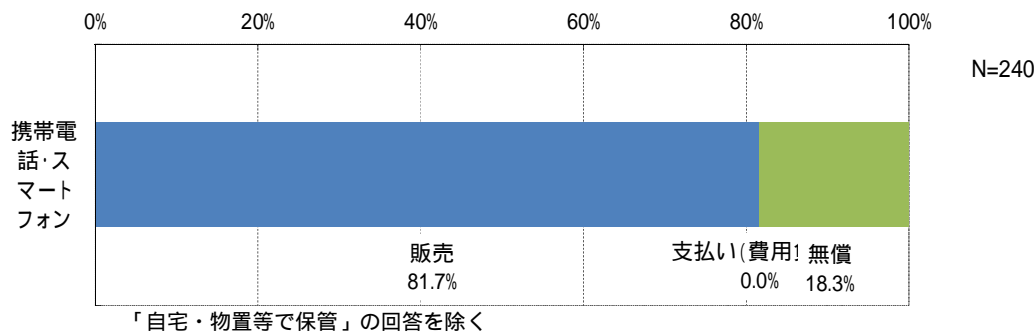
2) 不用品の排出における費用について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 81.7%、次いで「無償」が 18.3%、「支払い(費用負担)」は 0.0%となっている(図表 46)。また、「販売」の際の平均単価は 10,848 円/個となっている(図表 47)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 91.3% (7,518 円/個)、「無償」が 8.7%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 97.0% (16,195 円/個)、「無償」が 3.0%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「販売」が 67.4% (12,897 円/個)、「無償」が 32.6%となっている。

図表 46 排出・引渡時の費用について(携帯電話・スマートフォン)



図表 47 排出・引渡先別の割合・費用について(携帯電話・スマートフォン)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,040	80.0%	-	-	-	-	-	-	1,040	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	46	3.5%	31	67.4%	12,897	-	-	-	15	32.6%
その他の小売店に引渡し・売却	9	0.7%	7	77.8%	3,286	-	-	-	2	22.2%
リユースショップの店頭で売却	69	5.3%	63	91.3%	7,518	-	-	-	6	8.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.3%	4	100.0%	5,425	-	-	-	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	14	1.1%	12	85.7%	5,367	-	-	-	2	14.3%
インターネットオークションで売却	66	5.1%	64	97.0%	16,195	-	-	-	2	3.0%
フリマアプリで売却	13	1.0%	13	100.0%	6,700	-	-	-	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	11	0.8%	-	-	-	-	-	-	11	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	1	0.1%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
不用品回収業者に引渡し	1	0.1%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.1%	1	100.0%	50	-	-	-	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.1%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	4	0.3%	1	25.0%	20,000	-	-	-	3	75.0%
その他	20	1.5%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,300	100.0%	196	15.3%	10,848	0	0.0%	-	1,084	84.7%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した携帯電話・スマートフォンは369万台。

そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが50.4%、186万台、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が24.9%、92万台「インターネットショッピングサイト」が21.9%、81万台と推計される。

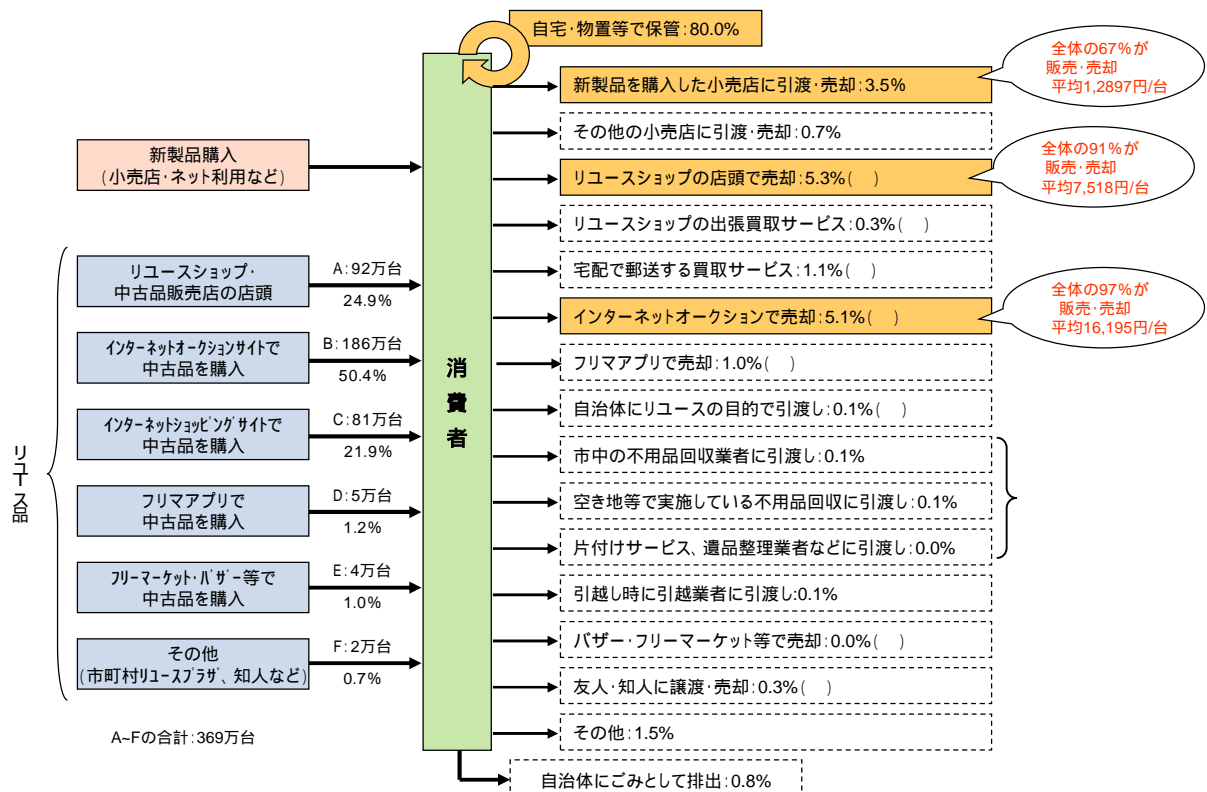
また、過去1年間で不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く80.0%、次いで「リユースショップ店頭で売却」が5.3%、

「インターネットオークションで売却」が5.1%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が3.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップ店頭で売却」では販売・売却が91%を占め、平均7,518円/台、次いで「インターネットオークションで売却」では販売・売却が97%を占め、平均16,195円/台、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では販売・売却が67%、平均12,897円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の13.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の65.8%を占めると推計される。

図表 48 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

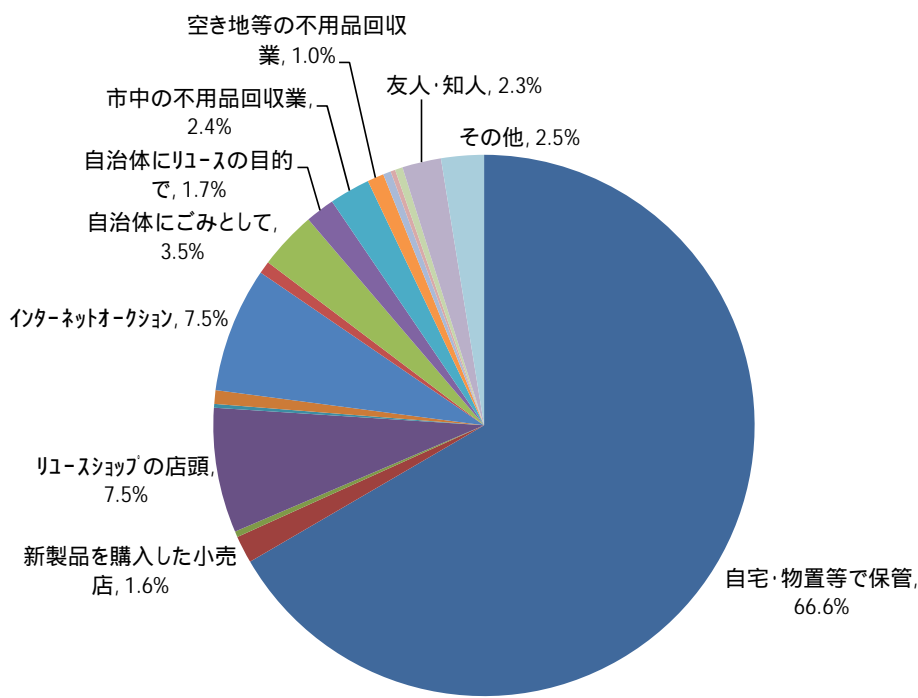
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1.3. パソコン・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったパソコン・周辺機器の個数は1,684個（853人からの回答）。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く66.6%、次いで「インターネットオークションで売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに7.5%、「自治体にごみとして廃棄」が3.5%と続く。

図表 49 不用となったパソコン・周辺機器の排出先別の割合（個）



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

N=1,684
(回答者は853人)

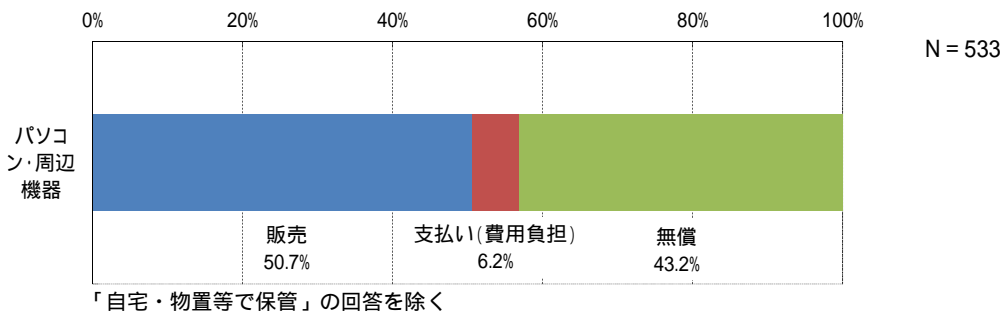
2) 不用品の排出における費用について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 50.7%、次いで「無償」が 43.2%、「支払い(費用負担)」は 6.2%となっている(図表 50)。また、「販売」の際の平均単価は 11,572 円/個、「支払い(費用負担)」は 7,513 円/個となっている(図表 51)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに続き、「インターネットオークションで売却」のうち「販売」が 82.2%(21,030 円/個)、「無償」が 17.8%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 85.3%(3,923 円/個)、「無償」が 14.7%、「自治体にごみとして廃棄」では「支払い(費用負担)」が 21.7%(2,033 円/個)、「無償」が 78.3%となっている。

図表 50 排出・引渡時の費用について(パソコン・周辺機器)



図表 51 排出・引渡先別の割合・費用について(パソコン・周辺機器)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,151	66.6%	-	-	-	-	-	1,151	100.0%	
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	28	1.6%	21	75.0%	10,629	-	-	7	25.0%	
その他の小売店に引渡し・売却	6	0.3%	1	16.7%	100	-	-	5	83.3%	
リユースショップの店頭で売却	129	7.5%	110	85.3%	3,923	-	-	19	14.7%	
リユースショップの出張買取サービス	4	0.2%	3	75.0%	1,500	1	25.0%	0	0.0%	
宅配で郵送する買取サービス	14	0.8%	3	21.4%	34,000	-	-	11	78.6%	
インターネットオークションで売却	129	7.5%	106	82.2%	21,030	-	-	23	17.8%	
フリマアプリで売却	13	0.8%	11	84.6%	6,827	-	-	2	15.4%	
自治体にごみとして廃棄	60	3.5%	-	-	-	13	21.7%	2,033	47	78.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	30	1.7%	-	-	-	8	26.7%	23,688	22	73.3%
不用品回収業者に引渡し	42	2.4%	1	2.4%	7,500	9	21.4%	1,889	32	76.2%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	17	1.0%	2	11.8%	50	-	-	15	88.2%	
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	8	0.5%	1	12.5%	200	2	25.0%	5,000	5	62.5%
引越し時に引越業者に引渡し	5	0.3%	-	-	-	-	-	-	5	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	8	0.5%	8	100.0%	2,000	-	-	-	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	40	2.3%	3	7.5%	11,667	-	-	-	37	92.5%
その他	44	2.5%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,728	100.0%	270	16.0%	11,572	33	2.0%	7,513	1,381	82.0%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計

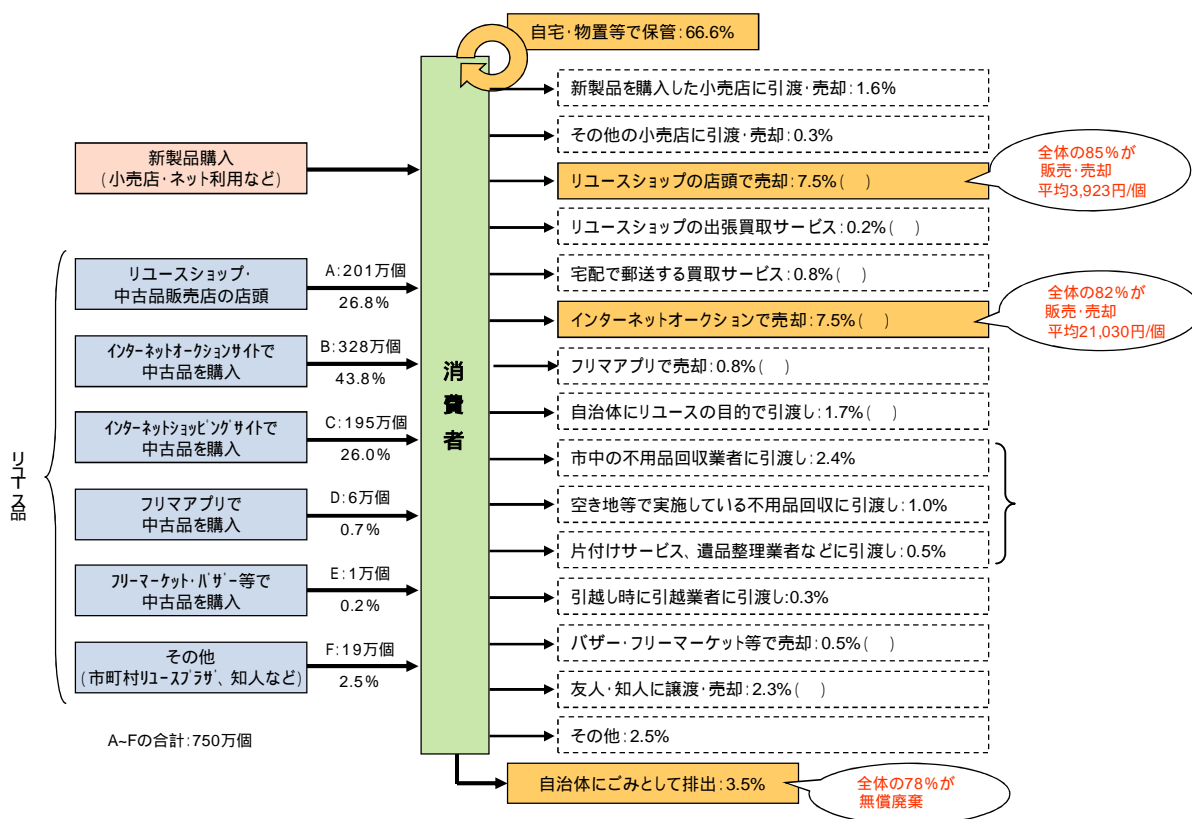
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したパソコン・周辺機器は750万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが43.8%、328万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が26.8%、201万個、「インターネットショッピングサイト」が26.0%、195万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く66.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が7.5%、「リユースショップの店頭で売却」も同じく7.5%、「自治体にごみとして排出」が3.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が85%、平均3,923円/個となり、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が82%を占め、平均21,030円/個となっている。「自治体にごみとして排出する」では78%が無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の21.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の66.4%を占めると推計される。

図表 52 パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为される排出先。

注) 図表中の「自治体にごみとして排出」について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

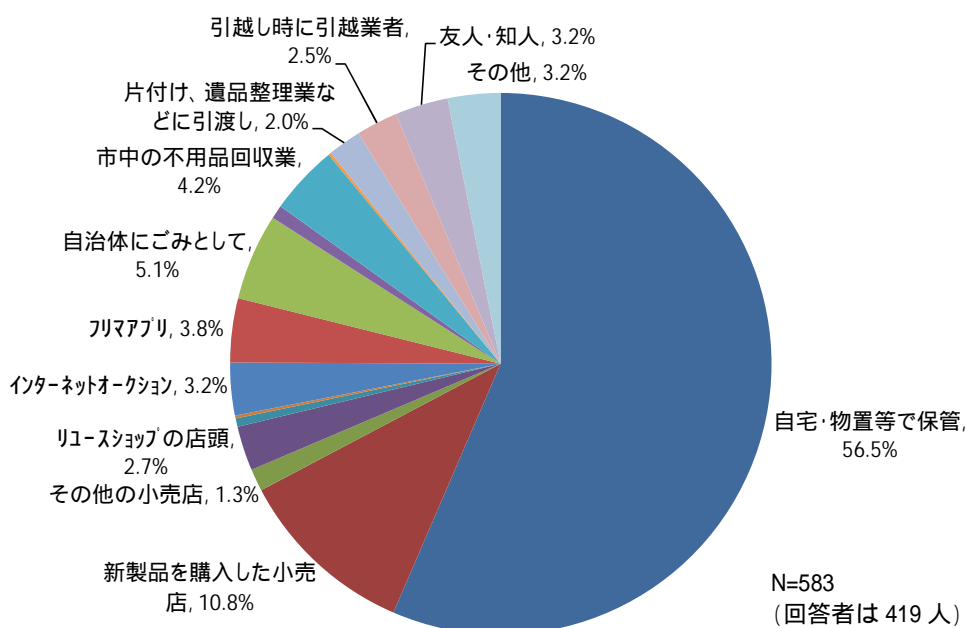
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

14. 家電4品目（エアコン、テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫）

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家電4品目の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家電4品目の個数は583個（419人からの回答）。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く56.5%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が10.8%、「自治体にごみとして廃棄」が5.1%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が4.2%と続く。

図表 53 不用となった家電4品目の排出先別の割合（個）



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

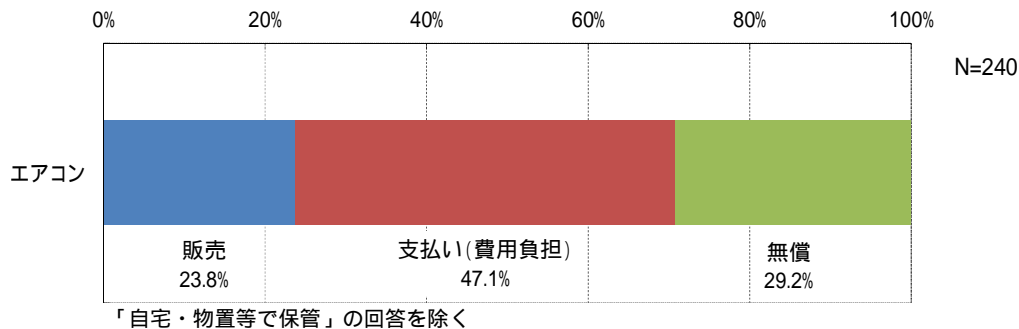
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家電4品目の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い(費用負担)」との回答が最も多く47.1%、次いで「無償」が29.2%、「販売」は23.8%となっている(図表54)。また、「支払い(費用負担)」の際の平均単価は3,983円/個、「販売」は7,201円/個となっている(図表55)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続く、そのうち「支払い(費用負担)」が69.2%(3,884円/台)、「無償」が23.1%、「販売」が7.7%(3,000円/台)となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「支払い(費用負担)」が74.2%(2,298円/台)、「無償」が25.8%、「不用品回収業者に引渡し」では「支払い(費用負担)」が48.0%(2,667円/台)、「無償」が44.0%、「販売」が8.0%(20円/台)となっている。

図表 54 排出・引渡時の費用について(家電4品目)



図表 55 排出・引渡先別の割合・費用について(家電4品目)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	340	56.5%	-	-	-	-	-	-	340	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	65	10.8%	5	7.7%	3,000	45	69.2%	3,884	15	23.1%
その他の小売店に引渡し・売却	8	1.3%	-	-	-	8	100.0%	4,050	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	16	2.7%	6	37.5%	3,000	1	6.3%	5,000	9	56.3%
リユースショップの出張買取サービス	3	0.5%	2	66.7%	10,000	1	33.3%	6,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	1	0.2%	1	100.0%	4,000	-	-	-	0	0.0%
インターネットオークションで売却	19	3.2%	16	84.2%	3,301	-	-	-	1	5.3%
フリマアプリで売却	23	3.8%	20	87.0%	15,005	-	-	-	2	8.7%
自治体にごみとして廃棄	31	5.1%	-	-	-	23	74.2%	2,298	8	25.8%
自治体にリユースの目的で引渡し	5	0.8%	-	-	-	4	80.0%	4,875	1	20.0%
不用品回収業者に引渡し	25	4.2%	2	8.0%	20	12	48.0%	2,667	11	44.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.2%	-	-	-	1	100.0%	2,000	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	2.0%	-	-	-	9	75.0%	9,111	3	25.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	15	2.5%	-	-	-	9	60.0%	5,389	6	40.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	19	3.2%	5	26.3%	100	-	-	-	14	73.7%
その他	19	3.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	602	100.0%	57	9.8%	7,201	113	19.5%	3,983	410	70.7%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家電 4 品目の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去 1 年間に中古品として消費者が購入・入手した家電 4 品目は 298 万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 40.8%、122 万台、「インターネットオークションサイト」が 37.1%、110 万台

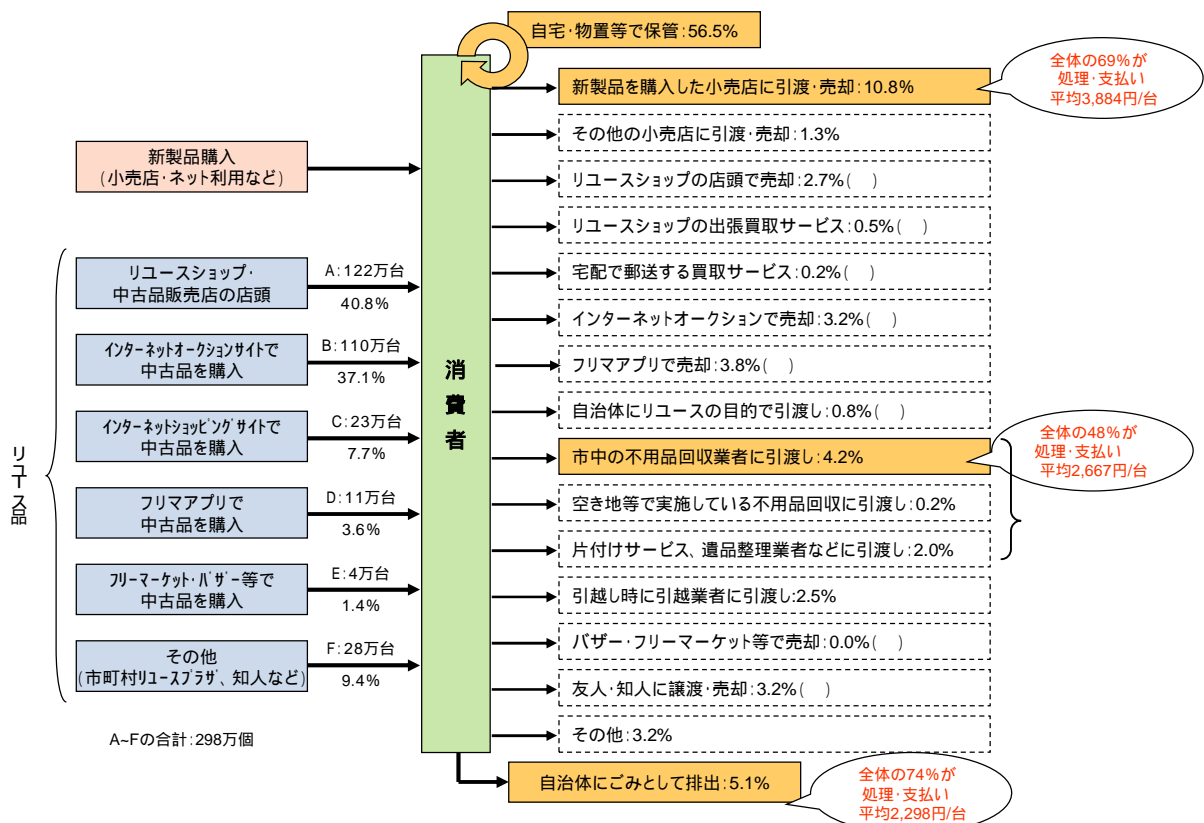
「インターネットショッピングサイト」が 7.7%、23 万台と推計される。

また、過去 1 年間で不用となった家電 4 品目の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 56.5%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が 10.8%、「自治体にごみとして廃棄」が 5.1%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が 4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では支払が 69%を占め、その費用は平均 3,884 円/台となっている。「市中の不用品回収業者に引き渡し」では支払が 48%、平均 2,667 円/台、「自治体にごみとして排出」は 74%、平均 2,298 円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の 14.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 25.9%を占めると推計される。

図表 56 家電 4 品目の排出・流通実態の推計



注) 図表中の 8 つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の 印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

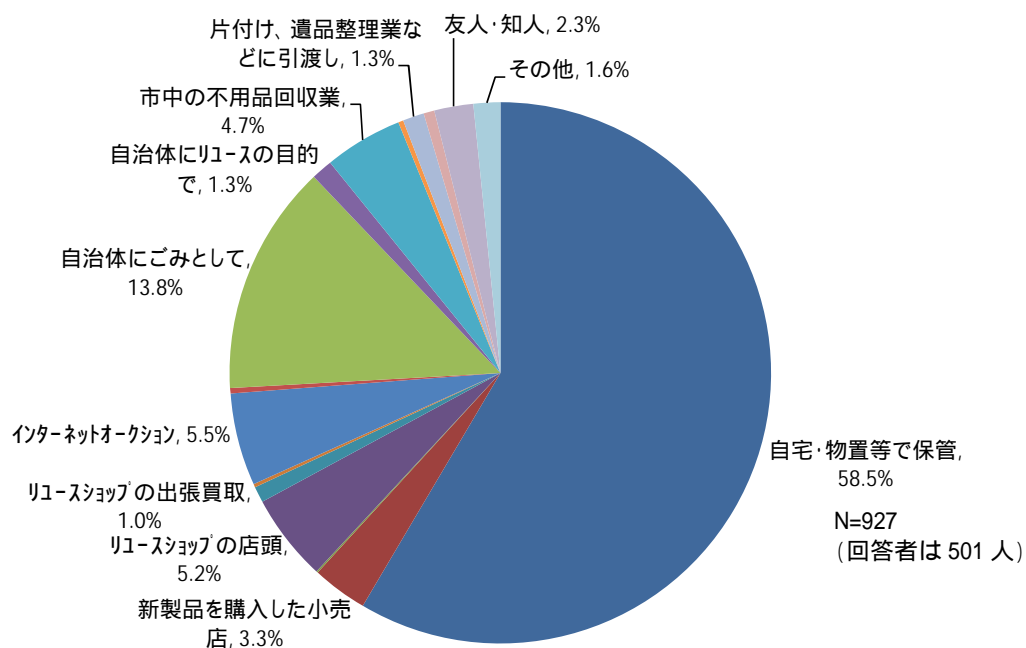
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

15 . その他の家電製品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の家電製品の個数は927個(501人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く58.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.8%、「インターネットオークションで売却」が5.5%と続く。

図表 57 不用となったその他の家電製品の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

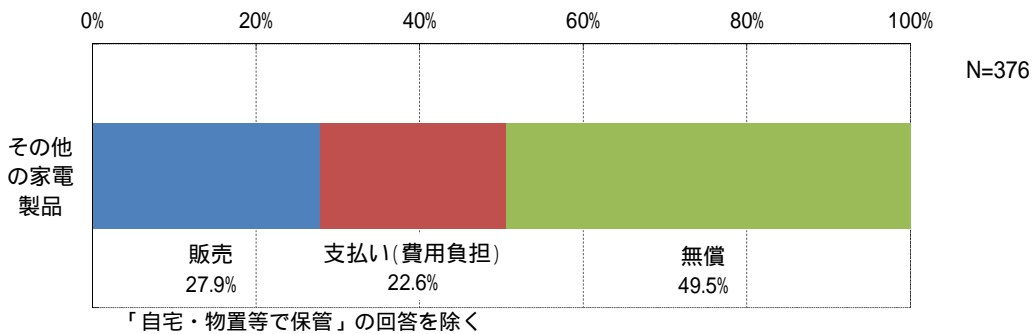
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 49.5%、次いで「販売」が 27.9%、「支払い(費用負担)」は 22.6%となっている(図表 58)。また、「販売」の際の平均単価は 4,073 円/個、「支払い(費用負担)」は 1,684 円/個となっている(図表 59)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続き、そのうち「無償」が 59.2%、「支払い(費用負担)」が 37.7%(709 円/台)となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 90.4%(7,255 円/台)、「無償」が 9.6%、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 75.5%(812 円/台)、「無償」が 24.5%、「不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 61.4%、「支払い(費用負担)」が 31.8%(3,071 円/台)、「販売」が 6.8%(10,000 円/台)となっている。

図表 58 排出・引渡時の費用について(その他の家電製品)



図表 59 排出・引渡先別の割合・費用について(その他の家電製品)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	551	58.5%	-	-	-	-	-	-	551	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	31	3.3%	5	16.1%	660	12	38.7%	3,542	14	45.2%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.1%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
リユースショップの店頭で売却	49	5.2%	37	75.5%	812	-	-	-	12	24.5%
リユースショップの出張買取サービス	9	1.0%	5	55.6%	1,930	-	-	-	4	44.4%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.2%	1	50.0%	3,000	1	50.0%	500	0	0.0%
インターネットオークションで売却	52	5.5%	47	90.4%	7,255	-	-	-	5	9.6%
フリマアプリで売却	3	0.3%	3	100.0%	2,836	-	-	-	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	130	13.8%	4	3.1%	550	49	37.7%	709	77	59.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	12	1.3%	-	-	-	5	41.7%	2,400	7	58.3%
不用品回収業者に引渡し	44	4.7%	3	6.8%	10,000	14	31.8%	3,071	27	61.4%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.3%	-	-	-	-	-	-	3	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	1.3%	-	-	-	4	33.3%	2,600	8	66.7%
引越し時に引越業者に引渡し	6	0.6%	-	-	-	-	-	-	6	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	22	2.3%	-	-	-	-	-	-	22	100.0%
その他	15	1.6%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	942	100.0%	105	11.3%	4,073	85	9.2%	1,684	737	79.5%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の家電製品の排出・流通実態の推計

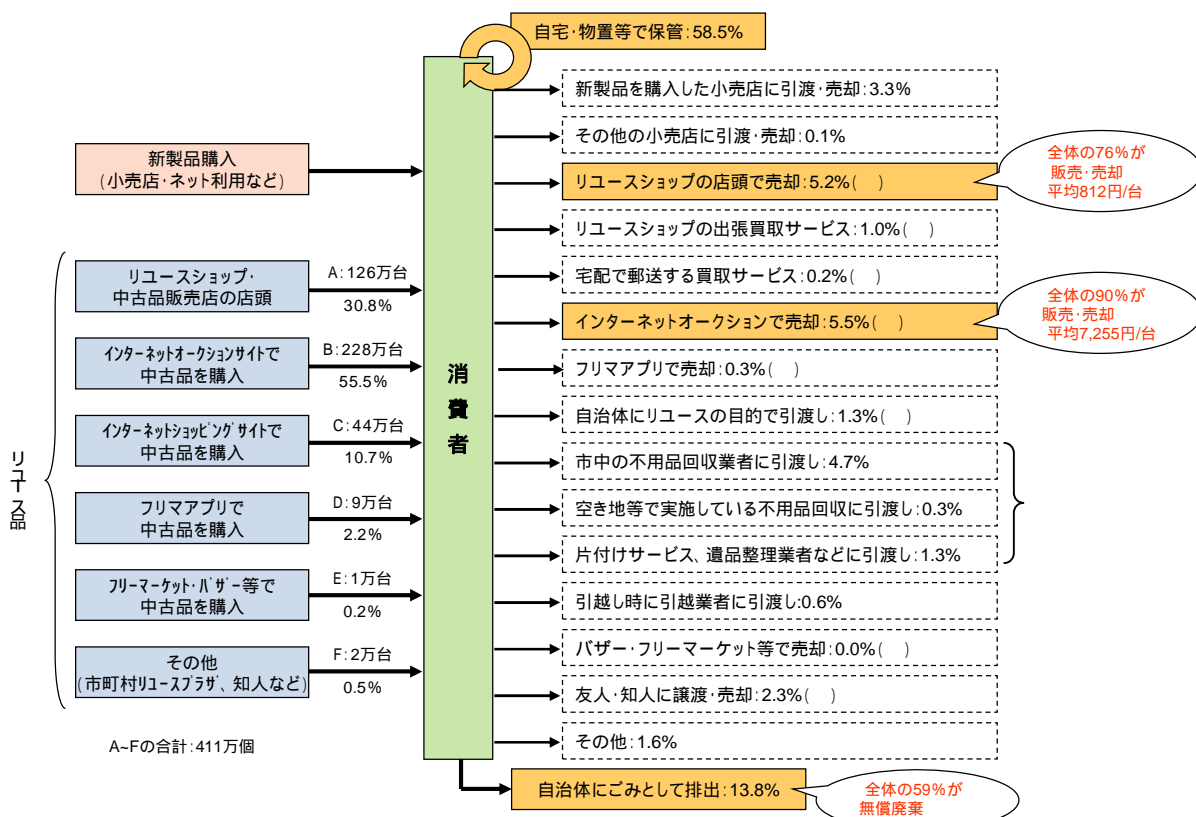
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他の家電製品は411万台、そのうち「インターネットオークションサイト」が55.5%、228万台「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが30.8%、126万台と「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものがそれぞれ10.7%、44万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の家電製品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く58.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.8%、「インターネットオークションで売却」が5.5%、「リユースショップの店頭で売却」が5.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償が59%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が90%を占め、平均7,255円/台、「リユースショップの店頭」では販売・売却が76%を占め、平均812円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の15.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の38.8%を占めると推計される。

図表 60 その他の家電製品の排出・流通実態の推計

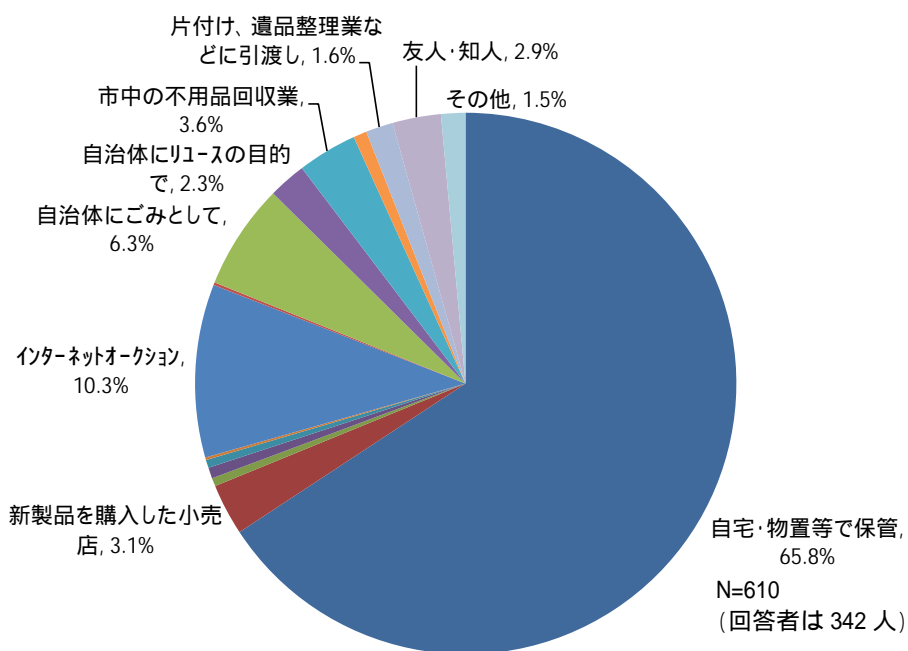


16 . 自転車、自転車部品・パーツ

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自転車、自転車部品・パーツの個数は610個(342人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く65.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして廃棄」が6.3%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が3.6%と続く。

図表 61 不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

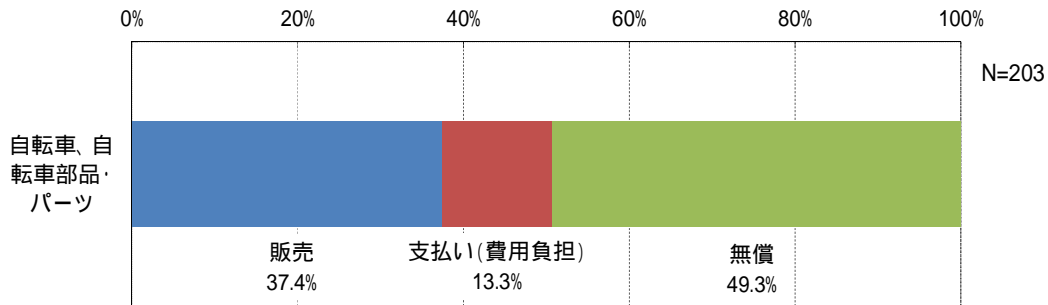
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 49.3%、次いで「販売」が 37.4%、「支払い(費用負担)」は 13.3%となっている(図表 62)。また、「支払い(費用負担)」の際の平均単価は 1,667 円/個、「販売」は 23,751 円/個となっている(図表 63)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 98.4% (26,922 円/個)、「無償」が 1.6%となっている。「自治体ごみとして廃棄」では「無償」が 56.4%、「支払い(費用負担)」が 30.8% (692 円/個)、「販売」が 12.8% (100 円/個)、「不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 77.3%、「支払い(費用負担)」が 22.7% (2,300 円/個)となっている。

図表 62 排出・引渡時の費用について(自転車、自転車部品・パーツ)



「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 63 排出・引渡先別の割合・費用について(自転車、自転車部品・パーツ)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	407	65.8%							407	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	19	3.1%	1	5.3%	500	3	15.8%	1,000	15	78.9%
その他の小売店に引渡し・売却	3	0.5%	-	-	-	-	-	-	3	100.0%
リユースショップの店頭で売却	4	0.6%	3	75.0%	6,667	-	-	-	1	25.0%
リユースショップの出張買取サービス	3	0.5%	1	33.3%	50,000	-	-	-	2	66.7%
宅配で郵送する買取サービス	1	0.2%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
インターネットオークションで売却	64	10.3%	63	98.4%	26,922	-	-	-	1	1.6%
フリマアプリで売却	1	0.2%	1	100.0%	23,000	-	-	-	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	39	6.3%	5	12.8%	100	12	30.8%	692	22	56.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	14	2.3%	-	-	-	2	14.3%	550	12	85.7%
不用品回収業者に引渡し	22	3.6%	-	-	-	5	22.7%	2,300	17	77.3%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.8%	-	-	-	-	-	-	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	1.6%	-	-	-	3	30.0%	6,833	7	70.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	18	2.9%	2	11.1%	7,500	2	11.1%	300	14	77.8%
その他	9	1.5%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	619	100.0%	76	12.5%	23,751	27	4.4%	1,667	507	83.1%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計

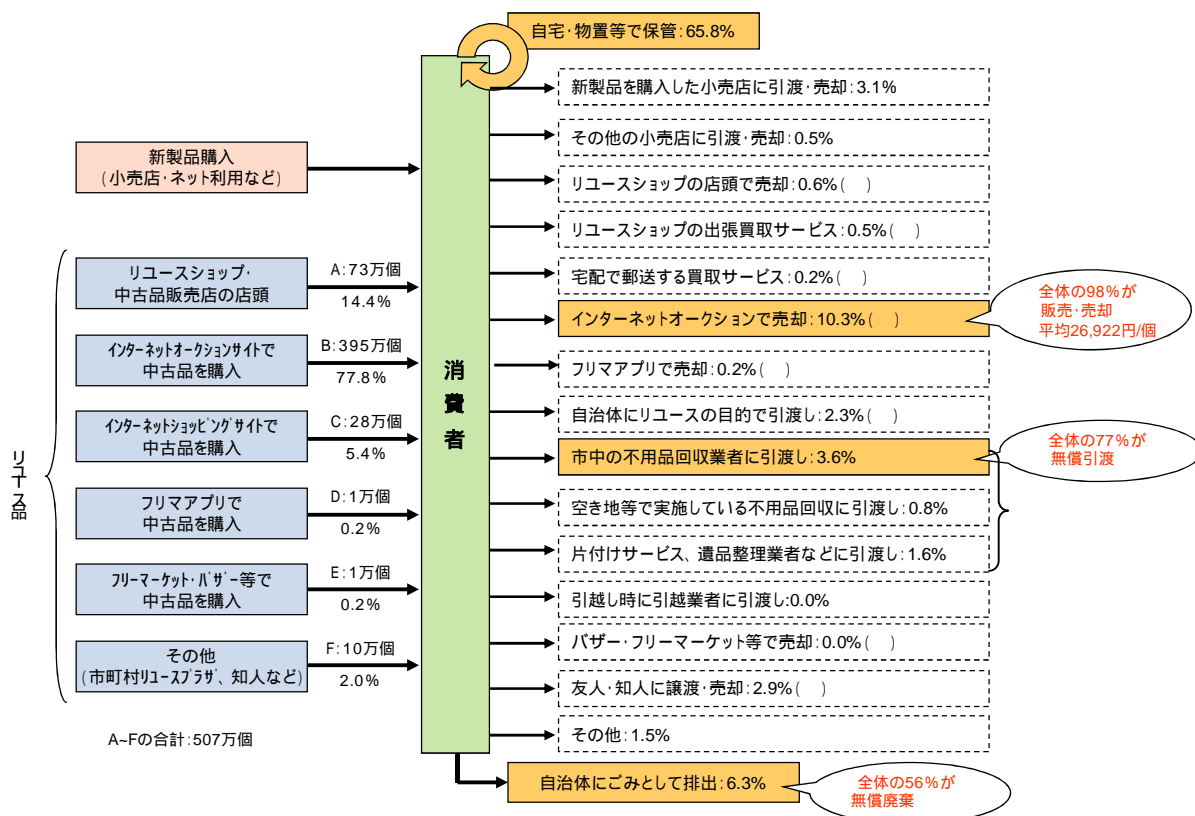
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自転車、自転車部品・パーツは507万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが77.8%、395万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が14.4%、73万個、「インターネットショッピングサイト」が5.4%、28万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く65.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして排出」が6.3%、「市内の不用品回収業者に引渡し」が3.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が98%を占め、平均26,922円/個。「市内の不用品回収業者に引渡し」では全体の77%が無償引渡、「自治体にごみとして排出」でも56%が無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の17%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の51.2%を占めると推計される。

図表 64 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

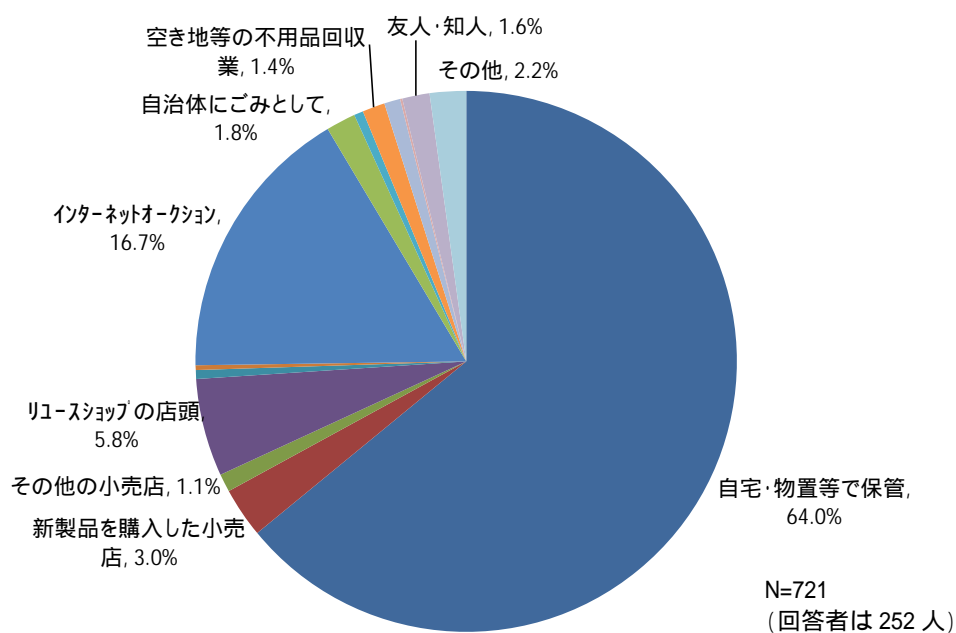
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

17. カー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカー用品の個数は721個(252人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く64.0%、次いで「インターネットオークションで売却」が16.7%、「リユースショップの店頭で売却」が5.8%と続く。

図表 65 不用となったカー用品の排出先別の割合(個)



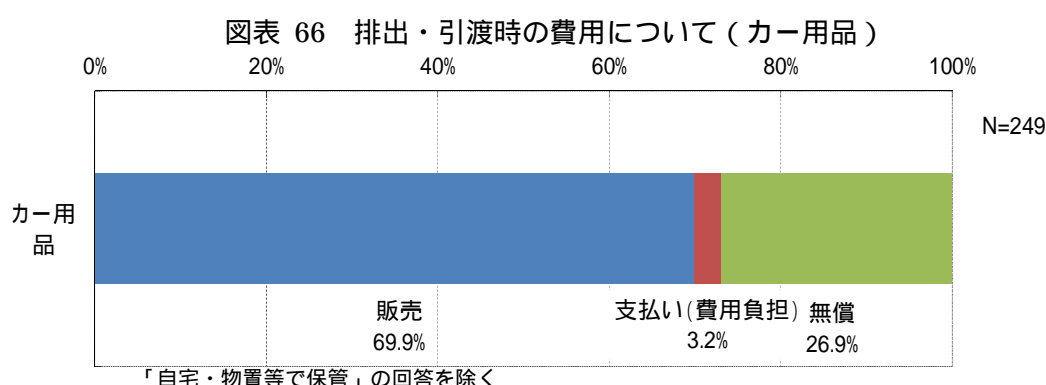
当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

不用となったカー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 69.9%、次いで「無償」が 26.9%、「支払い(費用負担)」は 3.2%となっている(図表 66)。また、「販売」の際の平均単価は 23,490 円/個、「支払い(費用負担)」は 3,325 円/個となっている(図表 67)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、97.6%が「販売」(31,920 円/個)、「無償」が 2.4%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 95.3%(4,437 円/個)、「無償」が 4.7%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が 63.6%、「販売」が 22.7%(2,600 円/個)、「支払い(費用負担)」が 13.6%(700 円/個)となっている。



図表 67 排出・引渡先別の割合・費用について(カー用品)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	472	64.0%						472	100.0%	
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	22	3.0%	5	22.7%	2,600	3	13.6%	700	14	63.6%
その他の小売店に引渡し・売却	8	1.1%	3	37.5%	12,000	1	12.5%	500	4	50.0%
リユースショップの店頭で売却	43	5.8%	41	95.3%	4,437	-	-	-	2	4.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.5%	3	75.0%	5,333	-	-	-	1	25.0%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.3%	-	-	-	-	-	-	2	100.0%
インターネットオークションで売却	123	16.7%	120	97.6%	31,920	-	-	-	3	2.4%
フリマアプリで売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
自治体にごみとして廃棄	13	1.8%	-	-	-	1	7.7%	1,000	12	92.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
不用品回収業者に引渡し	4	0.5%	-	-	-	-	-	-	4	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	1.4%	-	-	-	-	-	-	10	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	7	0.9%	-	-	-	2	28.6%	10,000	5	71.4%
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.1%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	12	1.6%	2	16.7%	5,000	1	8.3%	3,000	9	75.0%
その他	16	2.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	737	100.0%	174	24.1%	23,490	8	1.1%	3,325	539	74.8%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カー用品の排出・流通実態の推計

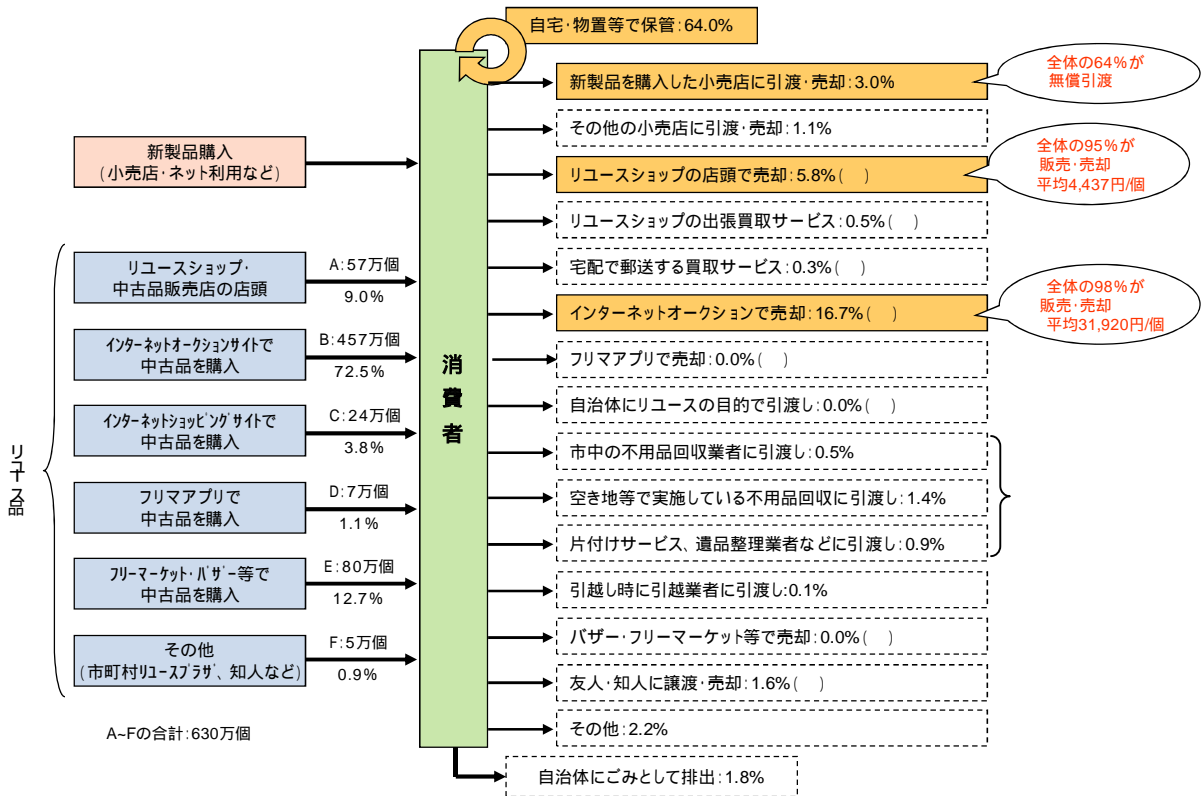
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカー用品は630万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが72.5%、457万個、「フリーマーケット・バザー等で中古品を購入」が12.7%、80万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が9.0%、57万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く64.0%、次いで「インターネットオークションで売却」が16.7%、「リユースショップの店頭で売却」が5.8%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が3.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は98%が販売・売却であり、平均31,920円/個、「リユースショップの店頭で売却」では95%が販売・売却であり、平均4,437円/個、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では無償引渡しが64%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の25.0%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の73.9%を占めると推計される。

図表 68 カー用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为される排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

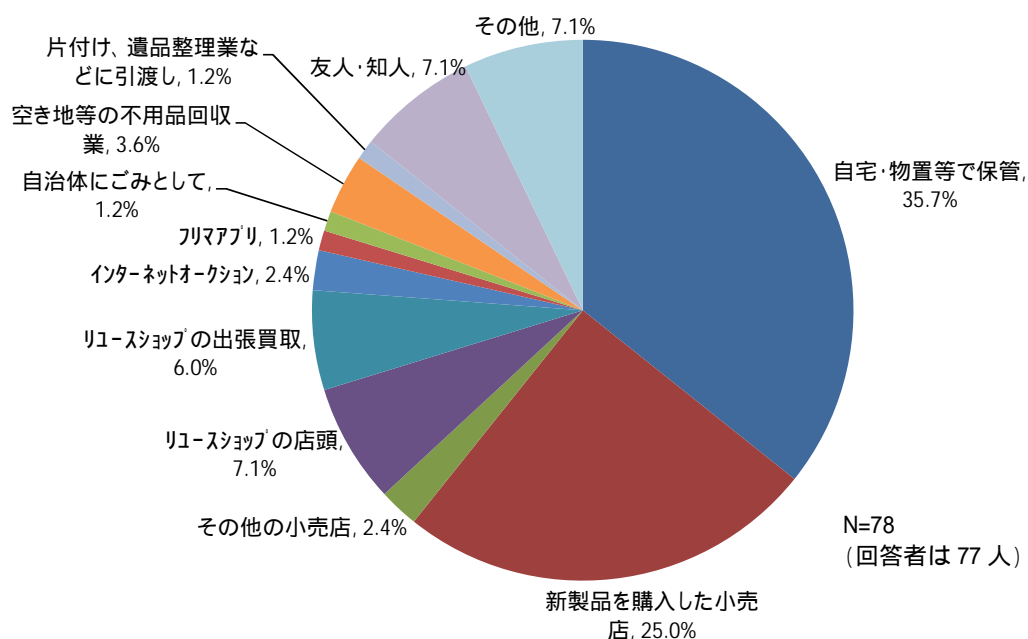
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

18. 自動車

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自動車の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自動車の台数は78台(77人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く35.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が25.0%、「リユースショップの店頭で売却」と「友人・知人に譲渡・売却」が共に7.1%と続く。

図表 69 不用となった自動車の排出先別の割合(台)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

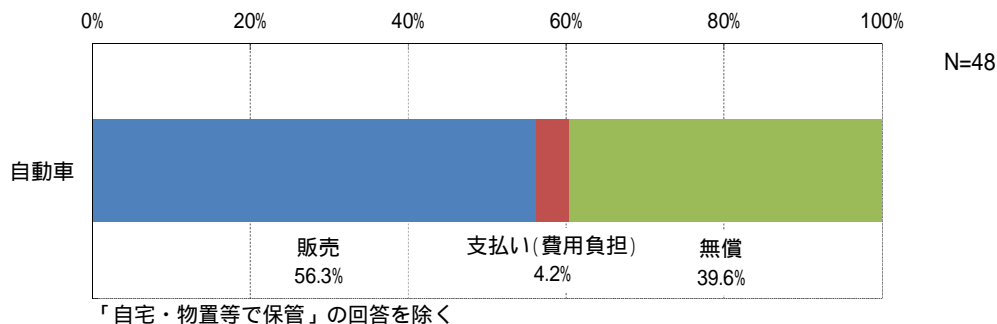
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自動車の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 56.3%、次いで「無償」が 39.6%、「支払い(費用負担)」は 4.2%となっている(図表 70)。また、「販売」の際の平均単価は 319,267 円/個、「支払い(費用負担)」は 7,501 円/個となっている(図表 71)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続き、「販売」が 76.2% (286,263 円/台)、「無償」が 23.8%、となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 66.7% (318,750 円/台)、「無償」が 16.7%、「支払い(費用負担)」が 16.7% (15,000 円/台)、「友人・知人に譲渡・売却」では「無償」が 83.3%、「販売」が 16.7% (100,000 円/台)となっている。

図表 70 排出・引渡時の費用について(自動車)



図表 71 排出・引渡先別の割合・費用について(自動車)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	30	35.7%	-	-	-	-	-	-	30	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	21	25.0%	16	76.2%	286,263	-	-	-	5	23.8%
その他の小売店に引渡し・売却	2	2.4%	1	50.0%	30,000	-	-	-	1	50.0%
リユースショップの店頭で売却	6	7.1%	4	66.7%	318,750	1	16.7%	15,000	1	16.7%
リユースショップの出張買取サービス	5	6.0%	3	60.0%	711,667	1	20.0%	1	1	20.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
インターネットオークションで売却	2	2.4%	2	100.0%	250,000	-	-	-	0	0.0%
フリマアプリで売却	1	1.2%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
自治体にごみとして廃棄	1	1.2%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	3.6%	-	-	-	-	-	-	3	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	1	1.2%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	6	7.1%	1	16.7%	100,000	-	-	-	5	83.3%
その他	6	7.1%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	84	100.0%	27	34.6%	319,267	2	2.6%	7,501	49	62.8%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自動車の排出・流通実態の推計

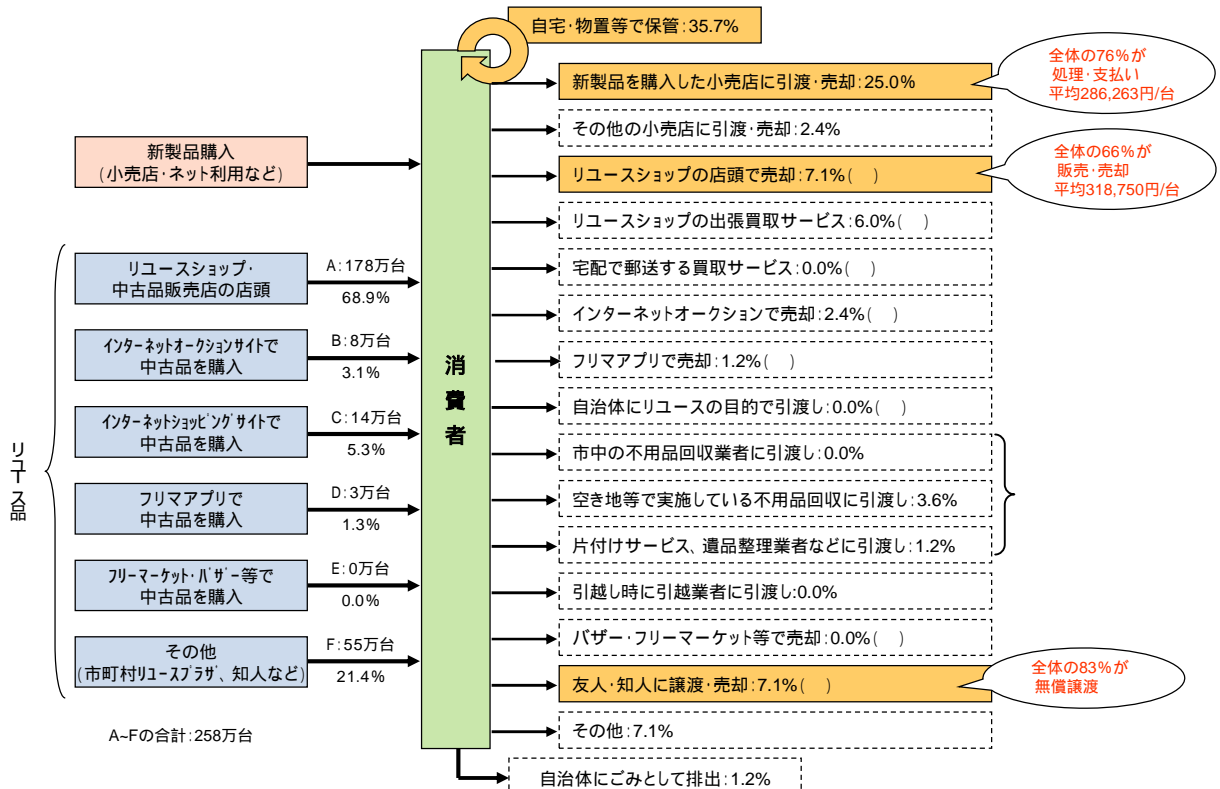
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自動車は258万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが68.9%、178万台、「その他」が21.4%、55万台、「インターネットショッピングサイト」が5.3%、14万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった自動車の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く35.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が25.0%、「リユースショップの店頭で売却」「友人知人に譲渡・売却」がそれぞれ7.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では販売・売却が76%、平均286,263円/台、「友人知人に譲渡・売却」では全体の83%が無償譲渡、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が66%、平均318,750円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の23.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の39.6%を占めると推計される。

図表 72 自動車の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

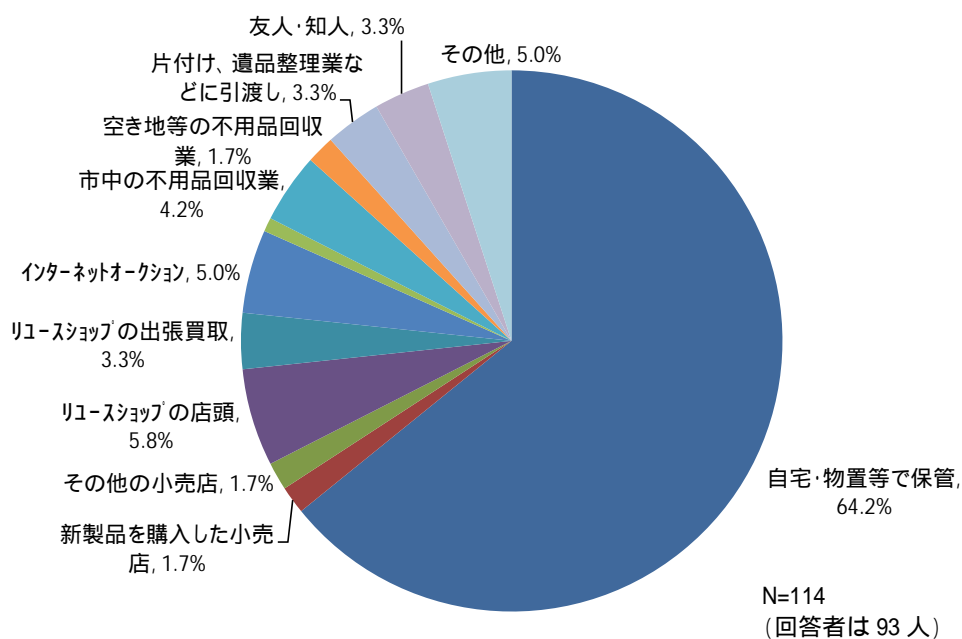
注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

19. バイク、原付バイク

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったバイク・原付バイクの台数は114台(93人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く64.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が5.8%、「インターネットオークションで売却」が5.0%、と続く。

図表 73 不用となったバイク・原付バイクの排出先別の割合(台)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

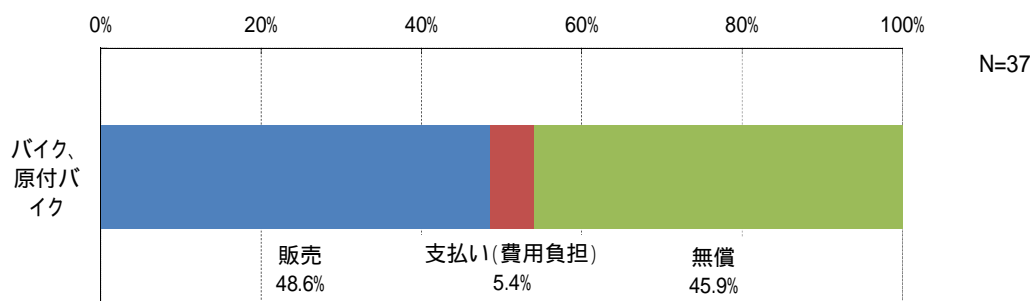
2) 不用品の排出における費用について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 48.6%、次いで「無償」が 45.9%、「支払い(費用負担)」は 5.4%となっている(図表 74)。また、「販売」の際の平均単価は 718,556 円/台、「支払い(費用負担)」は 1,500 円/台となっている(図表 75)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、100%が「販売」(159,857 円/台)となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0% (84,167 円/台)、「不用品回収業者に引渡し」では「支払い(費用負担)」が 20.0% (2,000 円/台)、「無償」が 80.0%、「リユースショップの出張買取サービス」では「販売」が 50.0% (5,452,500 円/台)、「無償」が 50.0%となっている。

図表 74 排出・引渡時の費用について(バイク・原付バイク)



「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 75 排出・引渡先別の割合・費用について(バイク・原付バイク)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売		(2)支払い(費用負担)		(3)無償			
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	77	64.2%							77	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	2	1.7%	1	50.0%	330,000	-	-	-	1	50.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	1.7%	-	-	-	-	-	-	2	100.0%
リユースショップの店頭で売却	7	5.8%	7	100.0%	159,857	-	-	-	0	0.0%
リユースショップの出張買取サービス	4	3.3%	2	50.0%	5,452,500	-	-	-	2	50.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
インターネットオークションで売却	6	5.0%	6	100.0%	84,167	-	-	-	0	0.0%
フリマアプリで売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
自治体にごみとして廃棄	1	0.8%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
不用品回収業者に引渡し	5	4.2%	-	-	-	1	20.0%	2,000	4	80.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	2	1.7%	-	-	-	-	-	-	2	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	4	3.3%	-	-	-	1	25.0%	1,000	3	75.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	4	3.3%	2	50.0%	37,500	-	-	-	2	50.0%
その他	6	5.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	120	100.0%	18	15.8%	718,556	2	1.8%	1,500	94	82.5%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計

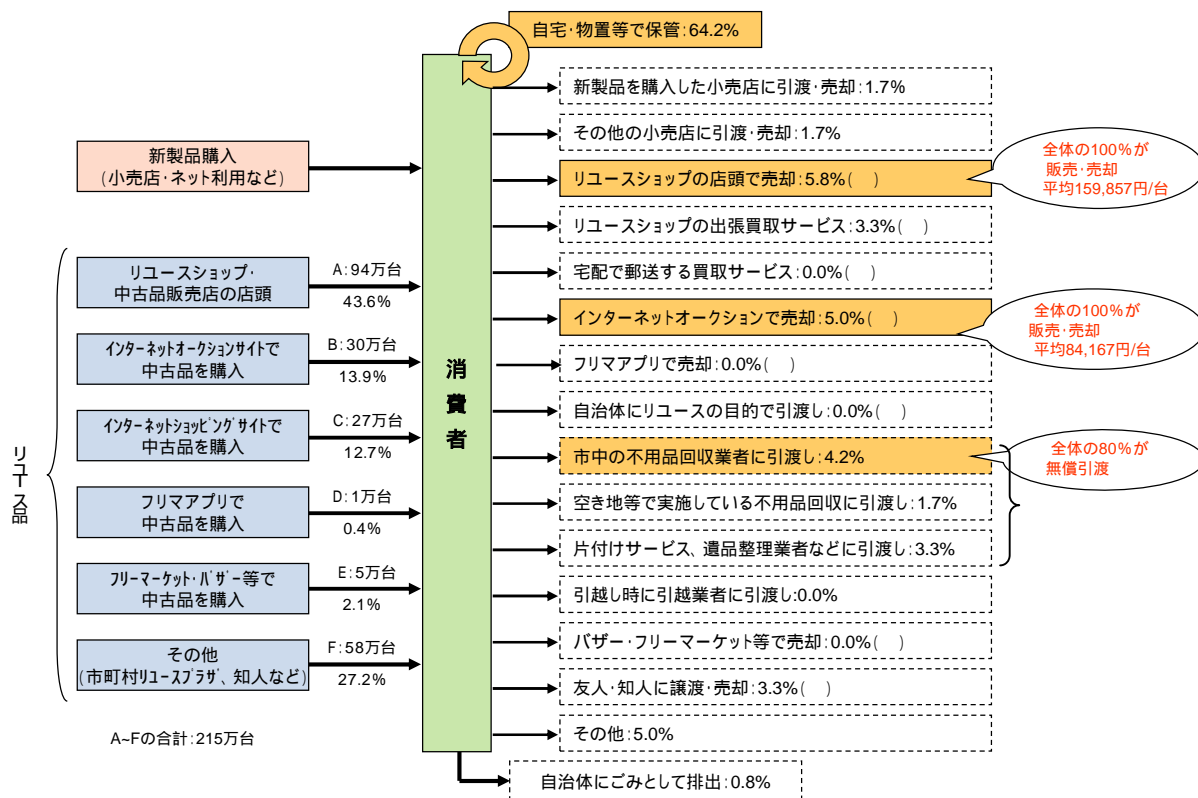
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したバイク・原付バイクは215万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが43.6%、94万台、「その他」が27.2%、58万台、「インターネットオークションサイト」が13.9%、30万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く64.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が5.8%、「インターネットオークションで売却」が5.0%、「市内の不用品回収業者に引渡し」が4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は100%が販売・売却であり、平均84,167円/台、「リユースショップの店頭で売却」も販売・売却が100%を占め、平均159,857円/台、「市内の不用品回収業者に引渡し」では80%が無償引渡しとなる。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の17.5%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の56.8%を占めると推計される。

図表 76 バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計

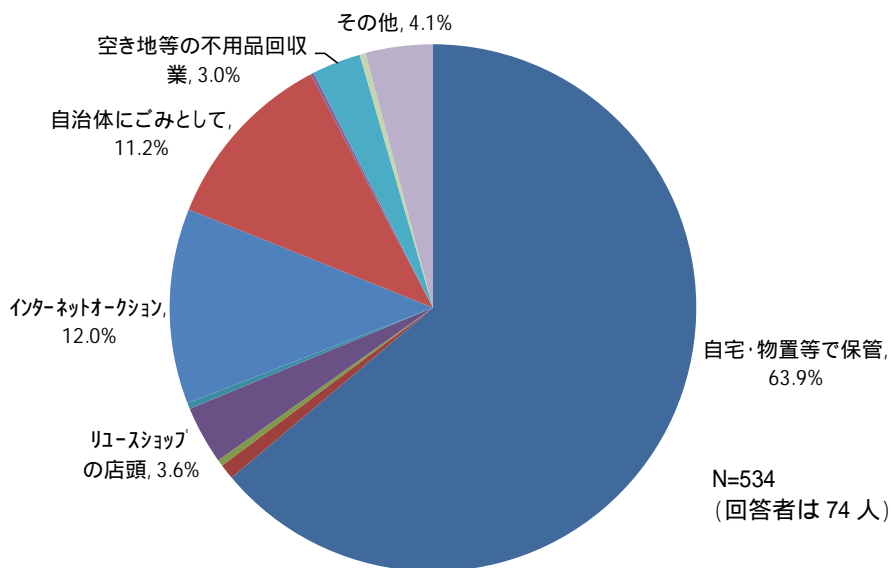


20. その他

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の個数は534個(74人からの回答)。排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く63.9%、次いで「インターネットオークションで売却」が12.0%、「自治体にごみとして廃棄」が11.2%と続く。

図表 77 不用となったその他の排出先別の割合(個)



当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

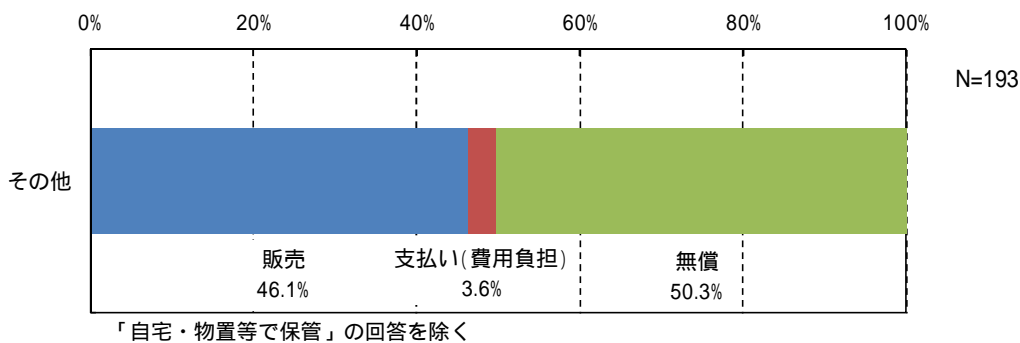
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多 50.3%、次いで「販売」が 46.1%、「支払い(費用負担)」は 3.6%となっている(図表 78)。また、「販売」の際の平均単価は 3,451 円/個、「支払い(費用負担)」は 1,589 円/個となっている(図表 79)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き 100%が「販売」(3,594 円/個)となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 91.7%、「支払い(費用負担)」が 8.3%(524 円/個)、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 100%(1,187 円/個)となっている。

図表 78 排出・引渡時の費用について(その他)



図表 79 排出・引渡先別の割合・費用について(その他)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	341	63.9%	-	-	-	-	-	-	341	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	5	0.9%	4	80.0%	2,637	-	-	-	1	20.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.4%	-	-	-	-	-	-	2	100.0%
リユースショップの店頭で売却	19	3.6%	19	100.0%	1,187	-	-	-	-	-
リユースショップの出張買取サービス	2	0.4%	2	100.0%	22,000	-	-	-	-	-
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
インターネットオークションで売却	64	12.0%	64	100.0%	3,594	-	-	-	-	-
自治体にごみとして廃棄	60	11.2%	-	-	-	5	8.3%	524	55	91.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
不用品回収業者に引渡し	1	0.2%	-	-	-	-	-	-	1	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	16	3.0%	-	-	-	-	-	-	16	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人に譲渡・売却	2	0.4%	-	-	-	-	-	-	2	100.0%
その他	22	4.1%	-	-	-	2	9.1%	4,250	20	90.9%
合計	534	100.0%	89	16.7%	3,451	7	1.3%	1,589	438	82.0%

販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の排出・流通実態の推計

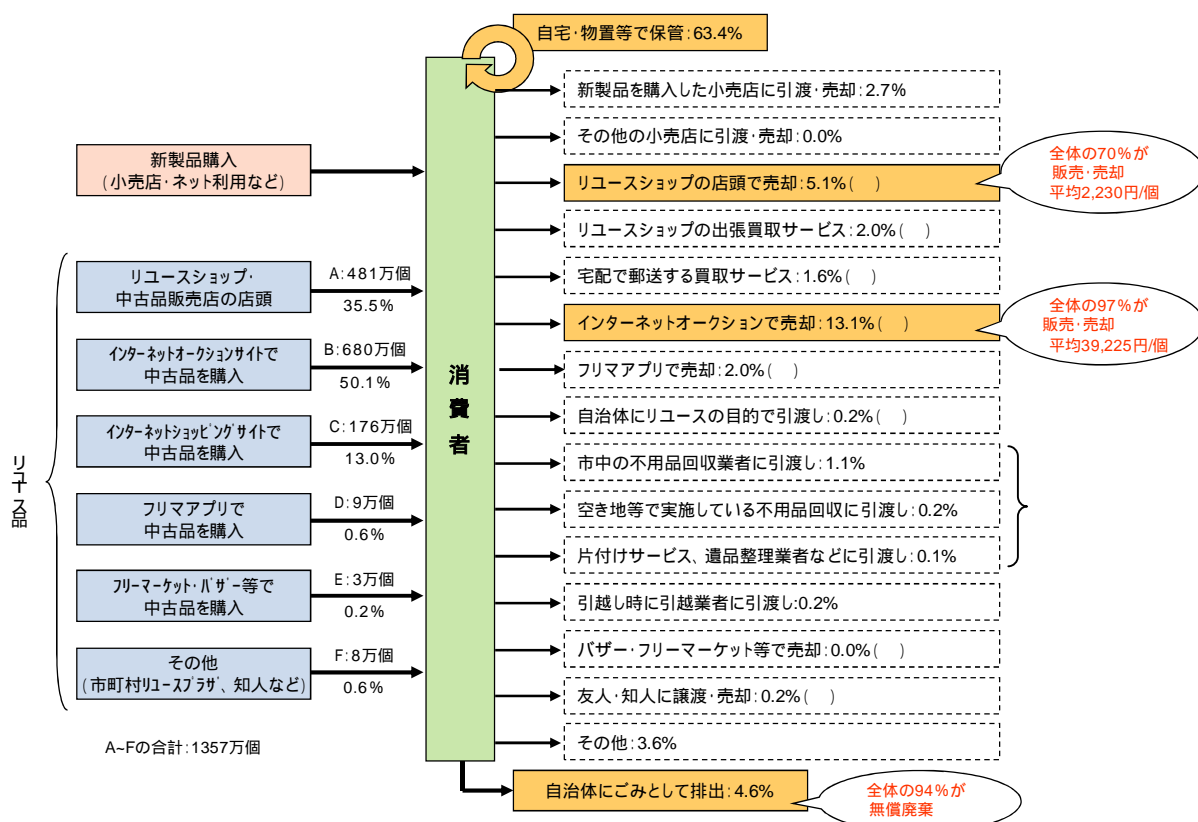
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他は1,357万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが50.1%、680万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が35.5%、481万個、「インターネットショッピングサイト」が13.0%、176万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く63.4%、次いで「インターネットオークションで売却」が13.1%、「リユースショップの店頭で売却」が5.1%、「自治体にごみとして排出」が4.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」97%が販売・売却であり、平均39,225円/個、「リユースショップの店頭で売却」では70%が販売・売却であり、平均2,230円/個、「自治体にごみとして排出」は94%無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の の排出先の合計)は、全体の24.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の73.3%を占めると推計される。

図表 80 その他の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))